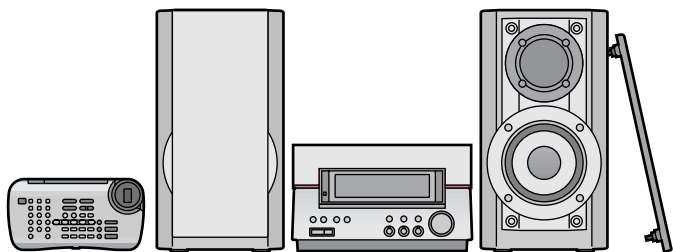


Panasonic®

MD ステレオシステム

取扱説明書

品番 SC-PM65MD



上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、MD ステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。



RQT5545-S



もくじ

まず

確認と準備

安全上のご注意	4
付属品の確認/リモコンの準備	7
接続	8
時計を合わせる	10
節電機能	10
オートオフ機能	11

すぐ

使いたいとき

MD を聞く	12
CD を聞く	14
ラジオを聞く	16
CD を MD に録音する	18
CD の好みの曲を録音するには	19

もっと

使いこなしたいとき

MD/CD の聞きかた	20
ランダムプレイ/リピートプレイ	20
プログラムプレイ	21
放送局を記憶させて聞く	22
いろいろな録音	24
CD の全曲を自動で録音	CD の好みの 1 曲を録音
CD を倍速で録音	ラジオを録音
MD を編集する	28
ムーブ/コンバイン/ディバイド/イレース	
MD にタイトルを付ける	32
タイマーを使う	36
MD ネットワーク機能を使う	40
別売り機器を使う	42
ポータブルMD プレーヤーから本機の MD に録音	42
他の機器を本機で再生/MD に録音	43
カセットデッキ・ラジカセ/アナログプレーヤー・テレビ・有線放送	43
CS/BS チューナー	44
屋外アンテナの接続	44
便利な機能	45

もし

必要なとき

MD・CD について/保管	46-47
お手入れ/著作権について	47
お電話の前に一度ご確認を	
Q&A (よくあるご質問)	48
こんな表示が出たら	49
故障かな!?	50
各部のなまえ	52
保証とアフターサービス	54
主な仕様	裏表紙

ご使用前に

使いかた

必要なとき

安全上のご注意



必ずお守りください




お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は、絵表示の一例です)

	警告 この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。


	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告


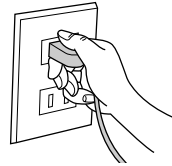
電源コードについて

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。


 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

 感電の原因になります。

ぬれ手禁止


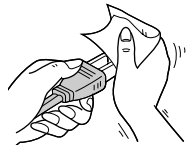
雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

接触禁止
感電の恐れがあります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。


コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

 ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。特にお子様にはご注意ください。

警告

ご使用について

分解、改造したりしない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起きたら

異常があったときは電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

機器内部に金属や水、異物が入ったとき

煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

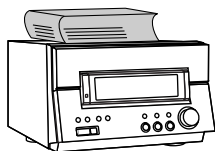
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

販売店にご相談ください。

注意

設置・接続について

放熱を妨げない



内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない



強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
設置・工事は販売店にご相談ください。

不安定な場所に設置しない



上に大きなもの、重いものを載せない
スピーカーを壁や天井に取り付けない

機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない



機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーは付属のものを接続する



付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

MD/CD パネルや CD トレイの開閉時に手を入れない



指に注意

閉まる時にはさまれて、けがの原因になることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意

⚠ 注意

ご使用について

機器に乗らない



倒れたりして、けがの原因になることがあります。

特にお子様にはご注意ください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとする、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。

また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

電池について

電池は正しく取り扱う



⊕と⊖は正しく入れる

長期間使用しないときは、取り出しておく

電池は誤った使い方をしない



新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない

乾電池は充電しない

加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない

ネックレスなどの金属物といっしょにしない

乾電池の代用として充電式電池を使わない

被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。

万一液もれが起これば、販売店にご相談ください。

液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

パネル開閉時のお願い

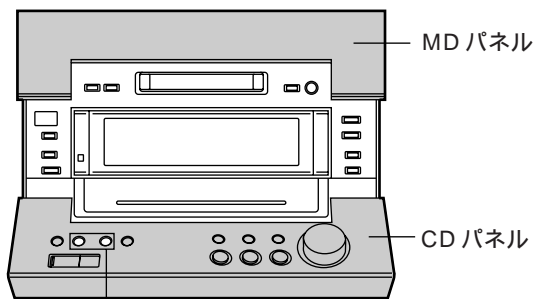
本機は[PANEL OPEN/CLOSE]を押すと、MDまたはCDパネルが開く設計になっています。

パネル開閉時には以下のことをお守りください。

開閉途中に手を入れない。

開閉途中に無理な力を加えない。途中で止まってしまうことがあります。

([PANEL OPEN/CLOSE]をもう一度押すと、正常な状態に戻ります)


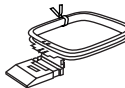
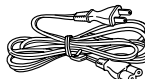


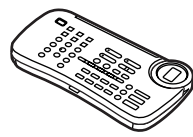

[PANEL OPEN/CLOSE]

付属品の確認



接続の前に、まず付属品を確かめてください。

- FM 簡易型アンテナ (1本)
(品番 RSA0006) 
- AM ループアンテナ (1コ)
(品番 RSA0033) 
- 電源コード (1本)
(品番 RJA0059-J) 

- リモコン (1コ)
(品番 EUR646910) 
- リモコン用単4形乾電池 (2本) 

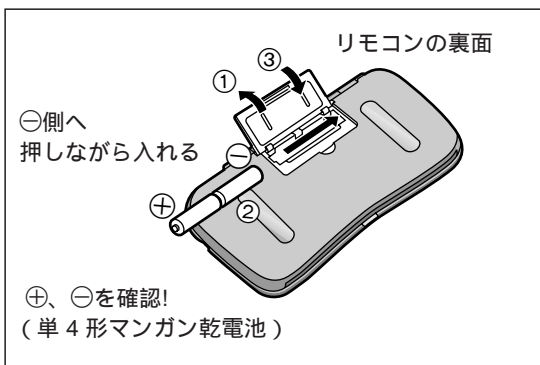
お願い

電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。

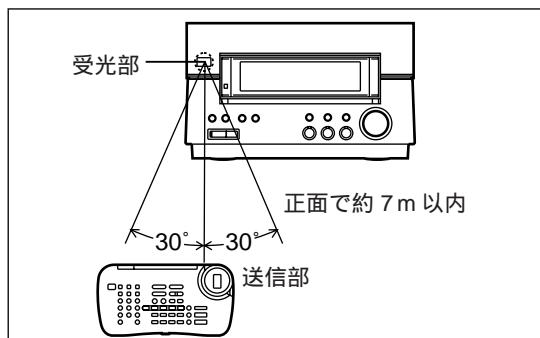
付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。カッコ () 内は、買い替え時の品番を表します。

リモコンの準備

乾電池 (付属) の入れかた



リモコンの使いかた



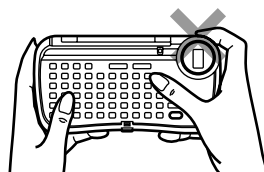
使用上のお願い

受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。

受光部と送信部のほこりに注意。

送信部はふさがない

手に持ったとき、指で送信部をふさがない



故障防止のために

分解、改造しない。

重いものを載せない。

直射日光の当たるところに放置しない。

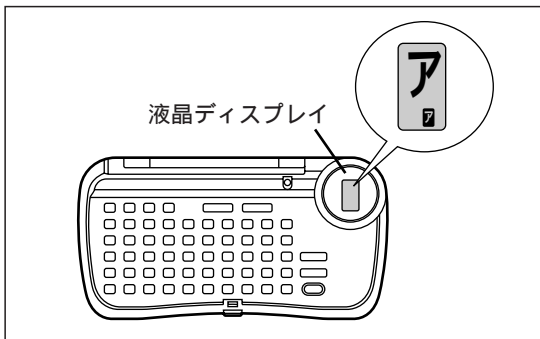
ジュースなど、液状のものをこぼさない。

本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなる場合があります。

液晶ディスプレイについて

MD にタイトルを付けるときなど、選んだ文字を液晶ディスプレイで確認することができます。



お知らせ

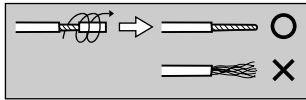
リモコンの送信部を指でふさいだり、向きが悪いと (右記参照) 液晶ディスプレイに文字が表示されても、本機には送信されません。

電池が消耗すると、液晶表示がうすくなります。

接続

準備：

FM 簡易型アンテナ、AM ループアンテナ、スピーカーコードの先端のビニール部分は、ねじりながら取り除きます。

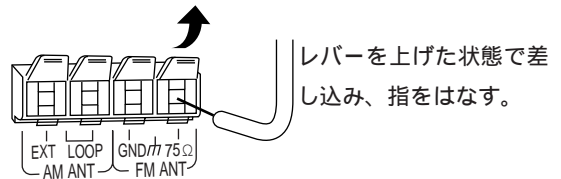


ラジオを聞くには FM 簡易型アンテナ/AM ループアンテナは必ず接続してください。接続しないと放送局を受信できません。

電源コードは最後に接続します。

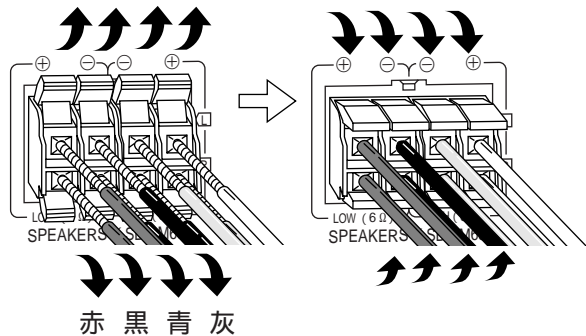
1 FM 簡易型アンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみてください(⇒17 ページ)。雑音の少ない位置で、壁や柱に止めます。



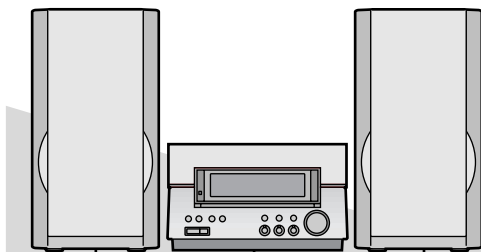
3 スピーカーコード

端子のレバーと、同じ色のコードをつなぎます。



設置

スピーカーは、右・左とも、同じ形です。どちらに置いてかまいません。



スピーカー センターユニット スピーカー
(SB-PM65)(SA-PM65MD)(SB-PM65)

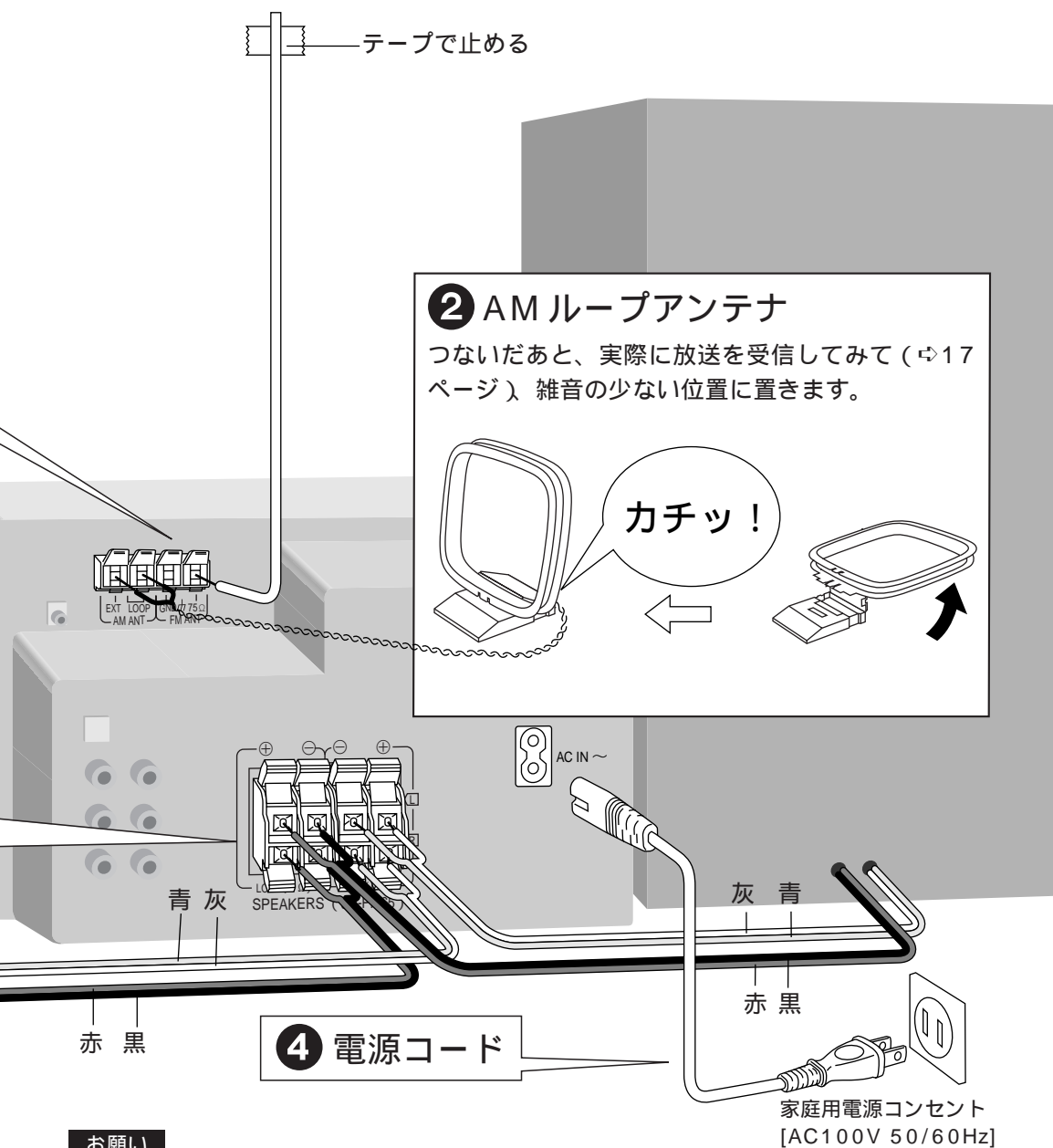
お願い

本機のスピーカーは防磁設計ではありません。テレビやパソコンなどの近くに置かないでください。

よい音で聞くために

本スピーカーは、スーパーウーハーの音が後方から出ます。後方の壁などから 5cm 以上離して設置することにより、低音を調整できます。

本スピーカーはしっかりとした固い台の上などに置くと、低音がよく出ます。



ご使用前に

お願い

付属のスピーカー以外はご使用になれません。
本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の演奏音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。
⊕と⊖をショートさせないでください。故障の原因になります。

長期間使用しないときは

節電のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。
ただし、再使用時には、放送局の設定など各種メモリの再設定が必要です。

[POWER Ⅰ] で電源を切った状態でも、以下の電力を消費しています。

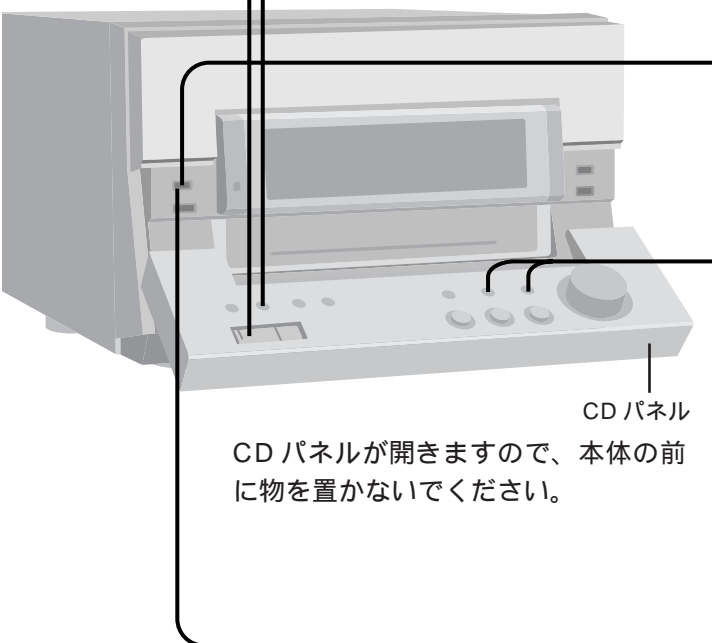
ECOモードのとき：約 0.35 W

NORMALモードのとき：約 8.5 W

本機の各種メモリ（時計をのぞく）は、電源コードを抜いた状態で、約 2 週間保持されます。

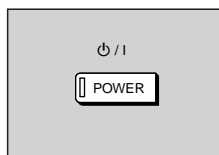
時計を合わせる (24 時間表示)

例：16時25分（午後4時25分）に合わせる。



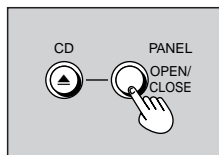
CD パネル
CD パネルが開きますので、本体の前に物を置かないでください。

1



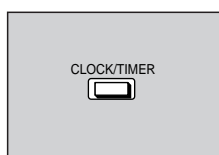
押す
電源が入ります。

2



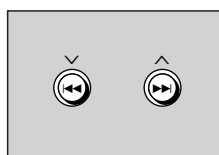
押す
CD パネルが開きます。
(閉めるにはもう一度押す。)

3



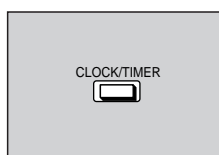
押して
“CLOCK--:--”
を選ぶ

4



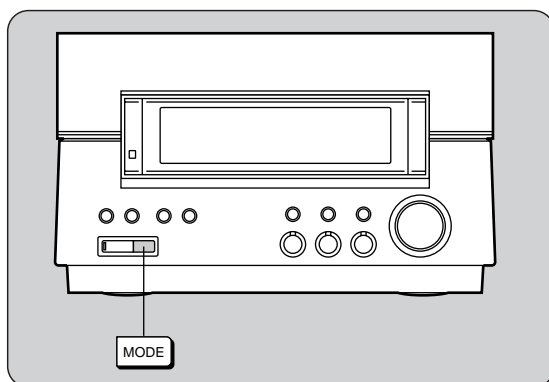
約 10 秒以内に、
いずれかを押し
時計を合わせる
押し続けると時刻表示が連続して変化します。
元の表示に戻ったときは、手順 3 からやり直してください。

5



時報に合わせて
押す
時計合わせが完了し、元の表示に戻ります。

節電機能

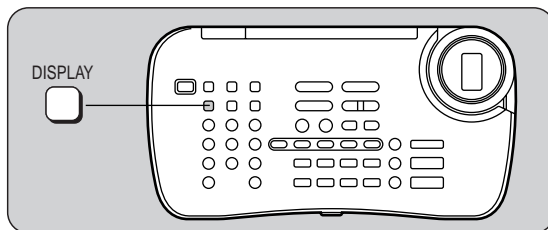


電源「切」時の消費電力が小さくなり、節電になります。

お買い上げ時の設定は「ECO」です。

モード	ECO	NORMAL
表示パネル	全消灯 (ϕ /ランプのみ点灯)	時計表示など
待機時の消費電力	約 0.35W	約 8.5W

時計を表示させるには



電源「切」時

ECOモードのときは、リモコンの [DISPLAY] を押す。

時計を約 5 秒間表示します。

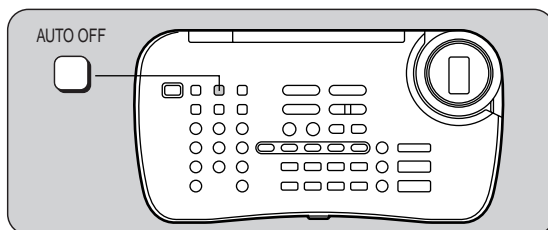
NORMALモードのときは、常に時計表示になります。

電源「入」時

本体の [CLOCK/TIMER] を押す。

時計を約 10 秒間表示して、元の表示に戻ります。

オートオフ機能



リモコンのみ

電源の切り忘れを防ぎます。

MD または CD の演奏を停止した状態が 10 分間続くと、自動的に電源が切れます。

[AUTO OFF] を押す

解除するには、

もう一度 [AUTO OFF] を押す。

AUTO OFF

節電機能の切り換えかた

電源を入れ、[MODE] を押す

現在のモードを表示します。

モード表示中にもう一度押すと、

NORMAL/ECO が切り換わります。

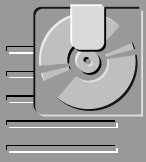
お知らせ

電源「切」時でも、NORMAL ECO に切り換えられます。ただし、逆には切り換えられません。

お知らせ

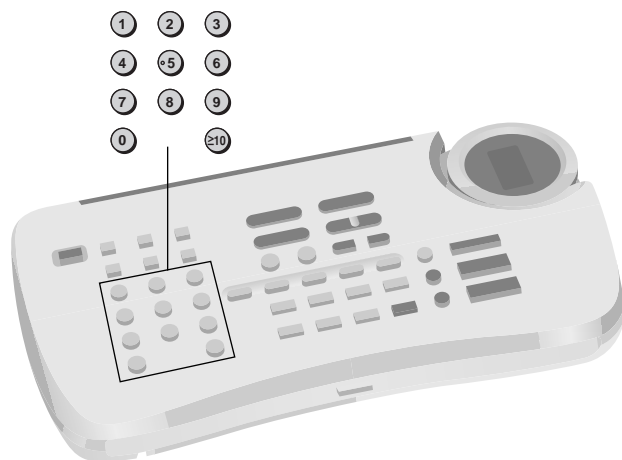
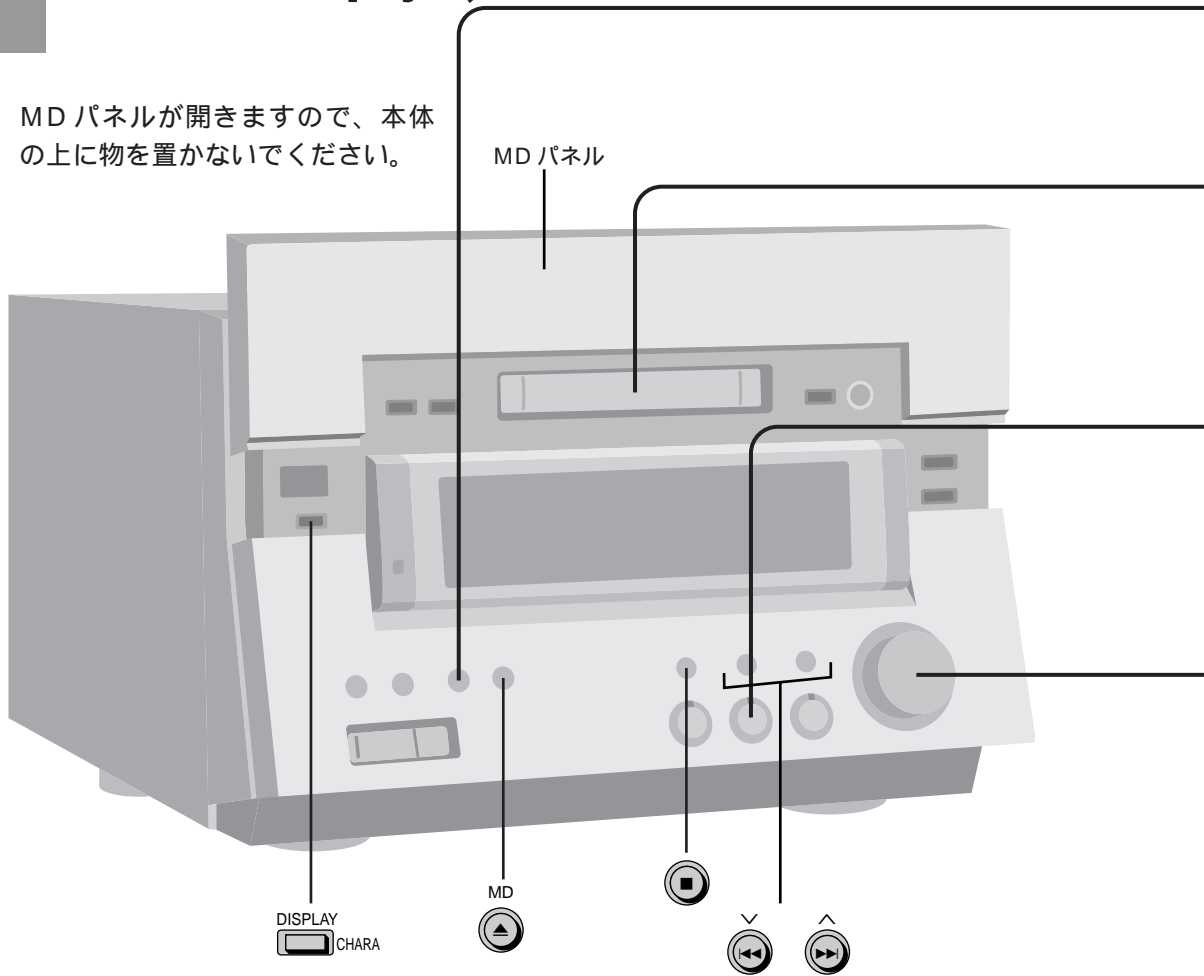
一度設定しておく、電源を切/入してもオートオフ機能が働きます。

MD、CD モード以外にすると、“ AUTO OFF ” 表示が消えますが、MD、CD モードにすると表示が戻ります。

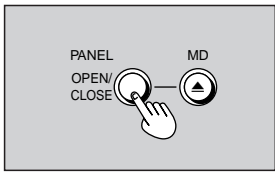


MD を聞く

MD パネルが開きますので、本体の上に物を置かないでください。

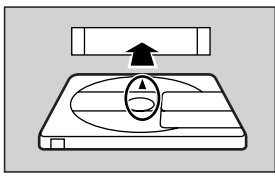


1



押す
自動的に電源が入り、MDパネルが開きます。
(閉めるにはもう一度押す。)

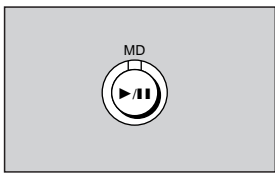
2



録音済み MD を入れる
MD モードになっているときは、曲数、総演奏時間、またはディスクタイトルが表示されます。
MD以外のモードになっているときは、**[▶/||、MD]** []を押す



3

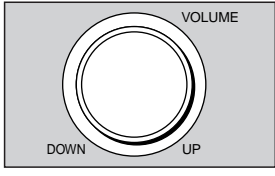


押す
1曲目から最終曲まで、順に演奏して、自動停止します。

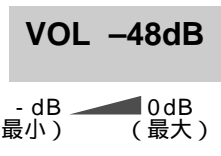


SP : 演奏中の曲が通常録音モードで録音されている
LP : 演奏中の曲が長時間・モノラルモードで録音されている

4



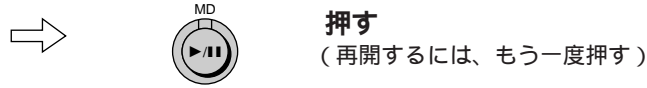
回して 音量を調節する



途中で止めるには



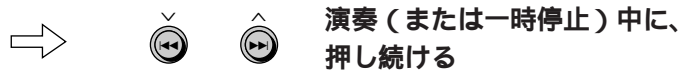
一時停止するには



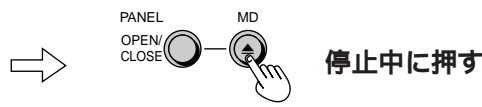
曲を前後にとび越すには
(スキップ)



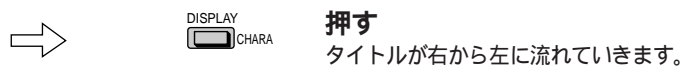
早送り・早戻しするには
(サーチ)



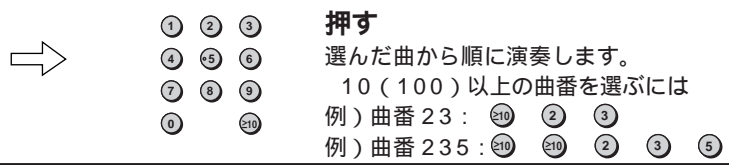
MDを取り出すには



長いタイトルを見るには

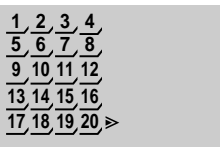


好みの曲から聞くには
(ダイレクトプレイ)



リモコンのみ

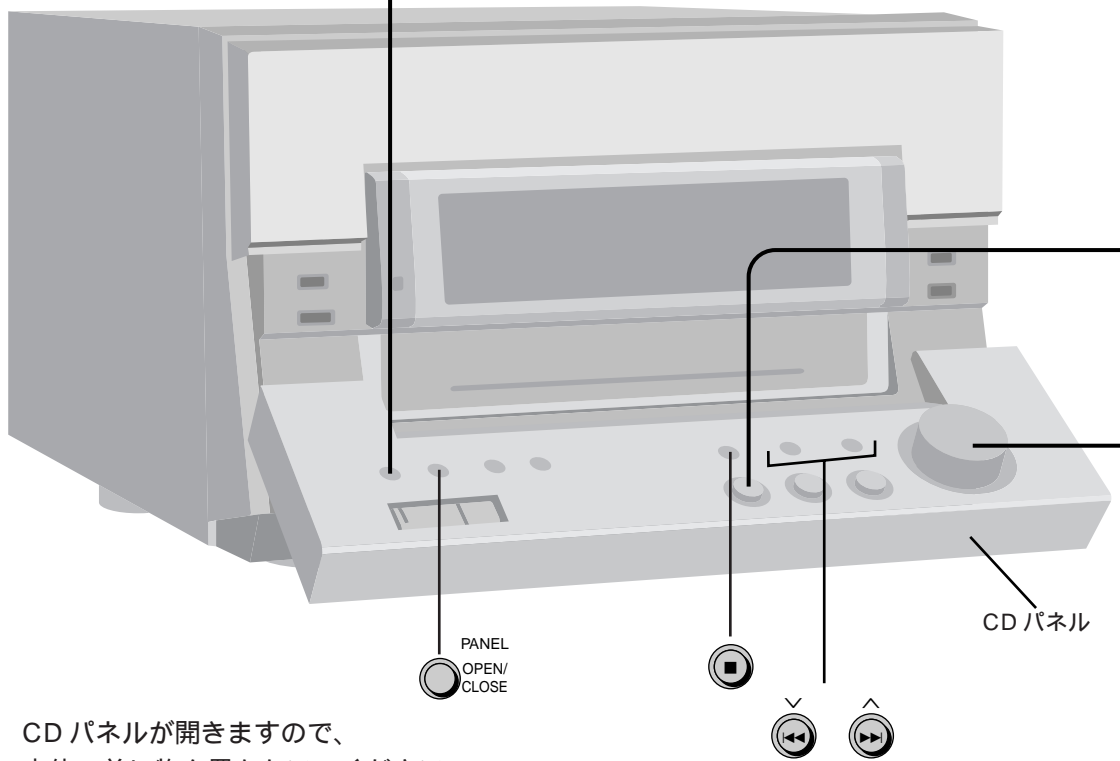
“▶”と表示したら
使用中のMDに21曲以上
入っていることを示して
います。



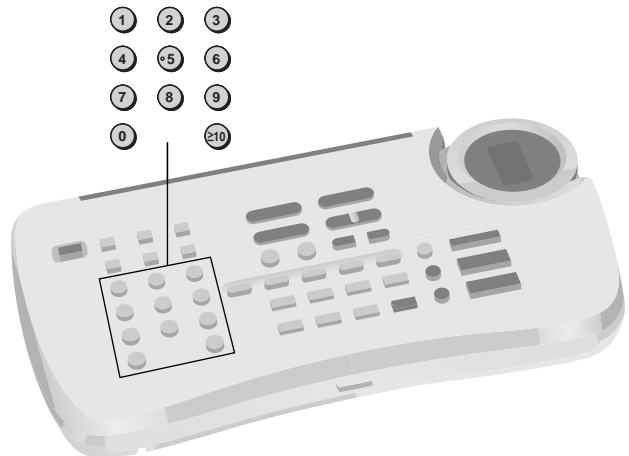
すでにMDが入っているときには、手順3から行
うと、自動的に電源が入り演奏が始まります。
(ワンタッチプレイ)



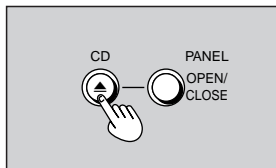
CD を聞く



CD パネルが開きますので、
本体の前に物を置かないでください。



1



押してトレイを開け

CDを入れる

自動的に電源が入り、CDパネルトレイの順に開きます。

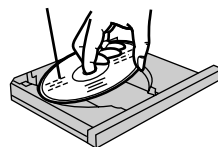
閉めるには、もう一度押す。

(CDパネルは開いたままです。)

CDモードになっているときは、曲数、総演奏時間が表示されます。

CD以外のモードになっているときは、[▶/⏸、CD] []を押す。

ラベル面を上

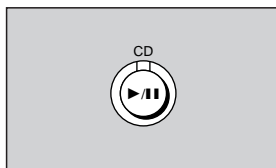


曲数

CD 17 64:34

総演奏時間

2



押す

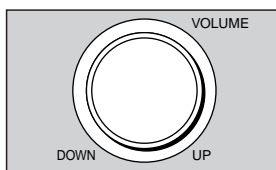
1曲目から最終曲まで、順に演奏して、自動停止します。

演奏中の曲番

CD 1 0:01

演奏経過時間

3



回して

音量を調節する

VOL -48dB

- - dB (最小) 0dB (最大)

途中で止めるには



押す

一時停止するには



押す

(再開するには、もう一度押す)

曲を前後にとび越すには
(スキップ)



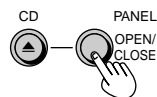
押す

早送り・早戻しするには
(サーチ)



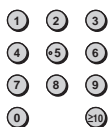
演奏(または一時停止)中に、
押し続ける

CDパネルを閉めるには



押す

好みの曲から聞くには
(ダイレクトプレイ)



押す

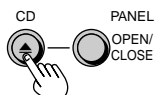
選んだ曲から順に演奏します。

10以上の曲番を選ぶには

(例) 曲番 23 : ≤ 10 2 3

リモコンのみ

CDを取り出すには



押す

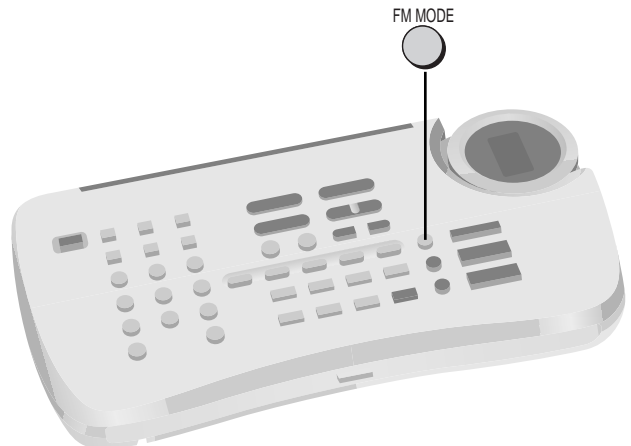
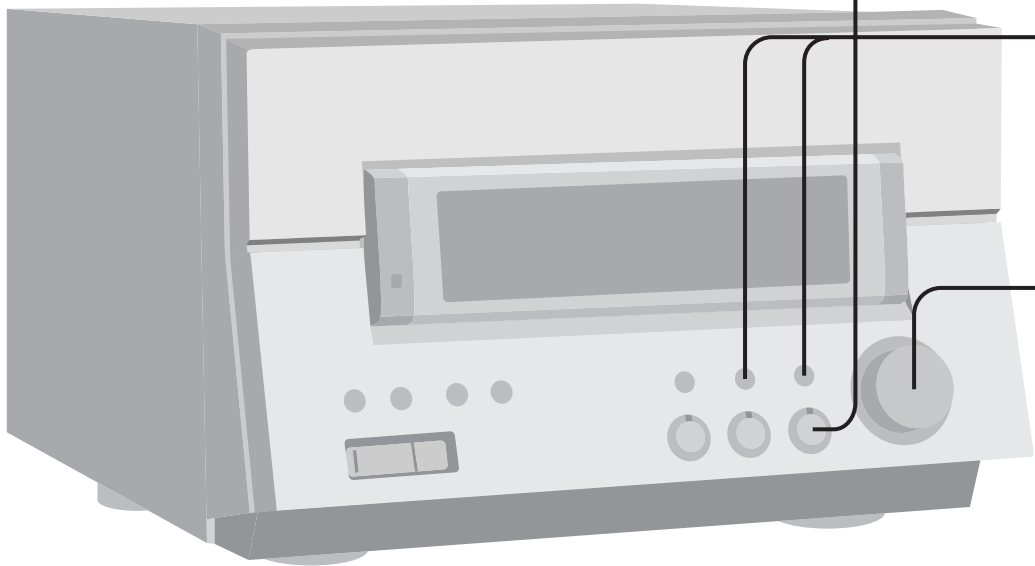
“▶”と表示したら
使用中のCDに21曲以上
入っていることを示してい
ます。

1 2 3 4
5 6 7 8
9 10 11 12
13 14 15 16
17 18 19 20 ▶

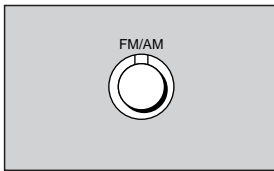
すでにCDが入っているときには、手順2から行
うと、自動的に電源が入り演奏が始まります。
(ワンタッチプレイ)



ラジオを聞く



1

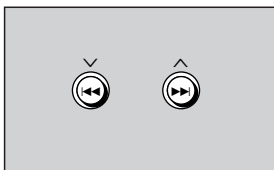


押して
“ FM ” または “ AM ”
を選ぶ

自動的に電源も入り、ラジオに切り換わります。
(ワンタッチプレイ)

FM 76.0 MHz
押すたびに FM ⇄ AM

2

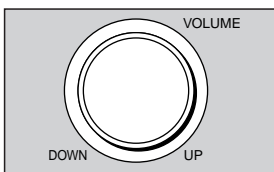


いずれかを押して
好みの放送局を受信する

STEREO : FM ステレオ
放送を受信すると点灯
TUNED : 正確に受信すると点灯

TUNED STEREO
FM 82.5 MHz

3



回して
音量を調節する

VOL -48dB
- - dB (最小) 0dB (最大)

自動選局するには
(オートチューニング)



上記2の手順で押し続け、
周波数が動き出したら指をはなす
放送局を受信すると、止まります。
好みの放送局を受信するまで、同じ操作を繰り返してください。

FM ステレオ放送で
雑音が多いときは

リモコンのみ

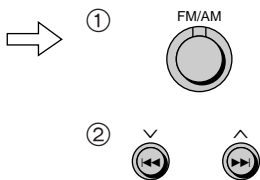


押す
“ MONO ” が表示されます。
押すたびに
MONO ⇄ 消灯

TUNED MONO
FM 82.5MHz

通常は “ 消灯 ” にしておきます。

TV 音声 1 ~ 3ch を聞くには



① “ FM ” を選ぶ

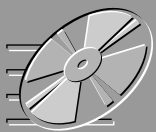
② 押し、好みの TV 局を受信する
FM 76.0MHz ← -- → FM 90.0MHz
↓ ↓
TV 3ch ↔ TV 2ch ↔ TV 1ch

お知らせ

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは、屋外アンテナの接続をおすすめします。(P.44 ページ)
オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、放送局を受信せずに周波数が止まる場合があります。

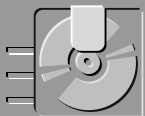
本機の TV 受信回路については、FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3 チャンネルに FM 放送が混信することがあります。

使いかた

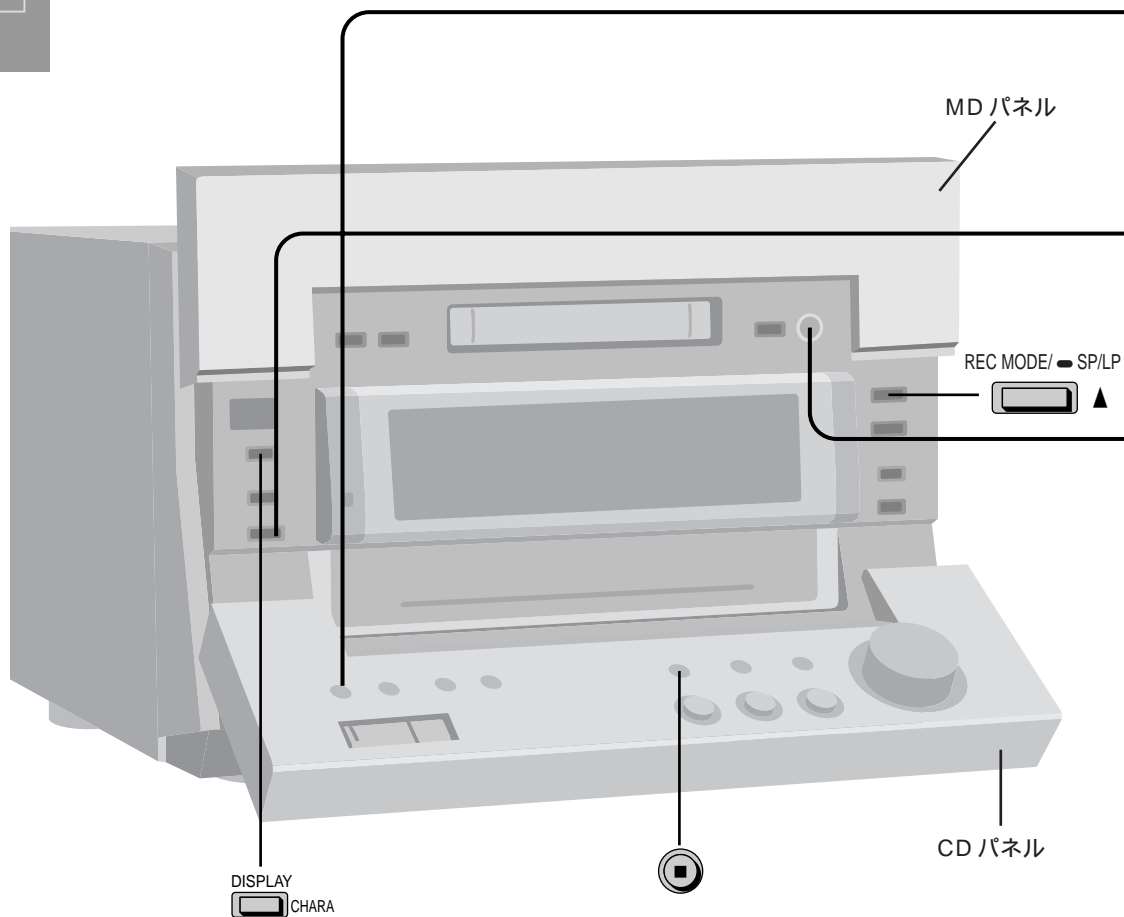


CD を MD に録音する

CD のデジタル信号をそのままデジタルで録音できます。



CD パネルと MD パネルが開きますので、本体の前と上に物を置かないでください。



はじめて MD を使用する場合は、46 ページ「MD について」をお読みください。

準備：① 録音用 MD を入れる。(⇨ 13 ページ)

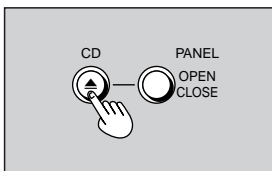
(何も録音されていない MD を入れると、“BLANK DISC” と表示されます)

② MD モード以外で、[REC MODE / - SP / LP] を長押しして、SP / LP 録音モードを選ぶ。

SP MODE : 通常録音モード

LP MODE : 長時間・モノラル録音モード (74 分ディスクで 148 分録音可能)

1

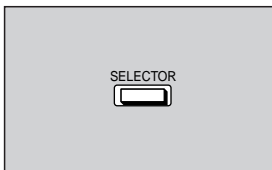


押してトレイを開け

CD を入れる

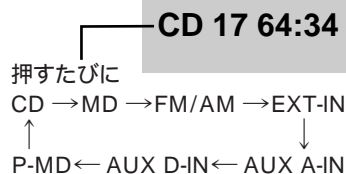
押すと CD パネル トレイの順に開きます。
閉めるには、もう一度押す。

2



押して

CD を選ぶ



押す

1 曲目から録音が始まります。

“UTOC” が点灯します。

(CD の演奏が終わると、MD も自動停止)

CD → MD



CD 1 0:01

(CD) → [MD] REC
UTOC SP

途中で止めるには



押す

UTOC Writing

UTOC

点滅後、録音が完了

一時停止するには



押す (“REC” が点滅)

トラックマークが付きま。

(再開するには、もう一度押す)

MD の残り時間を知るには



録音中



残り時間を表示するまで

数回押す

CD の曲の残り時間

7:04 → 30:46

MD の残り時間

停止中



押して

MD を選ぶ



残り時間を表示するまで

数回押す

MD Rem 30:46

MD の残り時間

CD の好みの曲を録音するには

① 録音したい曲をプログラムする。(⇨ 21 ページ)

② [REC / III] を押して、録音を始める。

録音時の音量・音質について

録音レベルは自動的に設定されます。

音量・音質を変えた場合、演奏音には効果がありますが、録音される MD には影響しません。

気に入った曲をすぐ録音するには

(CD 追っかけ録音)

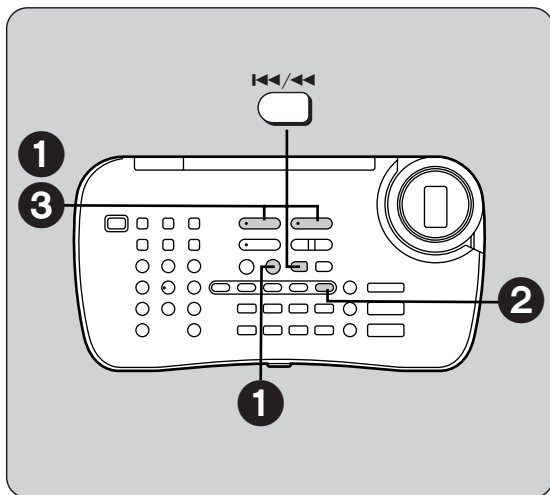
CD 演奏中に [REC / III] を押す。

曲の始めに戻って演奏し、最後の曲まで終わると、MD は自動停止します。1-REC モード(⇨ 25 ページ)のときは、その曲を録音したあと、自動停止します。

MD/CD の聞きかた

リモコンのみ

順不同に聞く (ランダムプレイ)



各曲を 1 回ずつ順不同に演奏します。

- 1 **MD** または **CD** 押して、“MD” または “CD” を選び、**ENTER** 押す
- 2 **RANDOM** 押す

- 3 **MD** または **CD** 押す
演奏が始まります。

解除するには
停止中に [RANDOM] を押す。

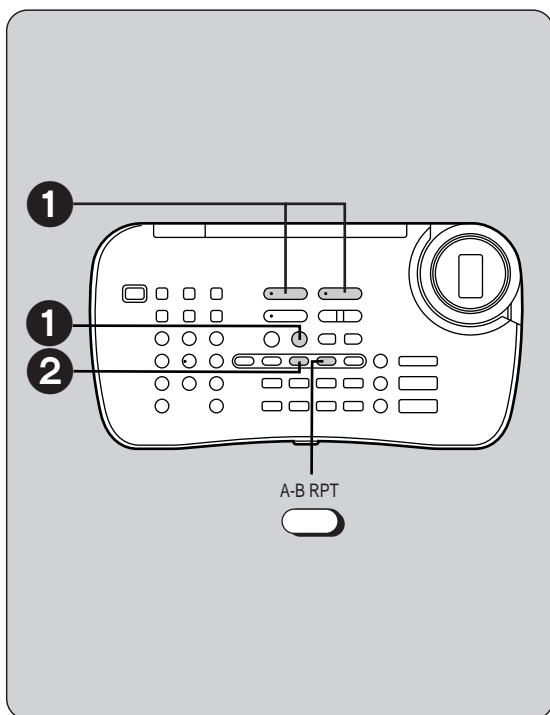
お知らせ

ランダムプレイ中は、[REVERSE] を押しても、前の曲に戻りません。
ランダムプレイ中にサーチすると、演奏中の曲の中でだけ早送り・早戻しします。

ランダムプレイ中は MD 編集できません。
ランダムプレイとプログラムプレイを組み合わせることはできません。

リモコンのみ

演奏をくり返す (リピートプレイ)



全曲または 1 曲をくり返したいとき

- 1 **MD** または **CD** 押して、“MD” または “CD” を選び、**ENTER** 押す
- 2 演奏前または演奏中に **REPEAT** 押す

TRACK REPEAT
1-

押すたびに
TRACK REPEAT → ALL REPEAT → 元の表示
(1-) (1 曲) () (全曲)

聞きたい部分だけをくり返したいとき (A-B リピート)




演奏中に

リピートを始めたいところ (A 点) で **A-B RPT** 押す


A→B REPEAT


リピートを終えたいところ (B 点) で **A-B RPT** 押す
A 点から B 点までをくり返し演奏します。
ランダムプレイ中は、A-B リピートは使えません。

解除するには

[REPEAT] を押して、“1-” または “” を消す。
または [A-B RPT] を押して、 AB を消す。
A-B リピートは演奏を停止させたときも解除されます。

数曲をくり返すには

- ① 好みの曲をプログラム予約する。(⇨ 21 ページ)
- ② 演奏前または演奏中に、[REPEAT] を押して “ALL REPEAT ()” を選ぶ。

リモコンのみ

好みの曲を予約順に聞く (プログラムプレイ)

最大 24 曲まで予約できます。

1 [MD ▶] または [CD ▶] を押して、“MD” または “CD” を選び、[] を押す

2 [PRGM] を押す

MD 0 0:00
PGM

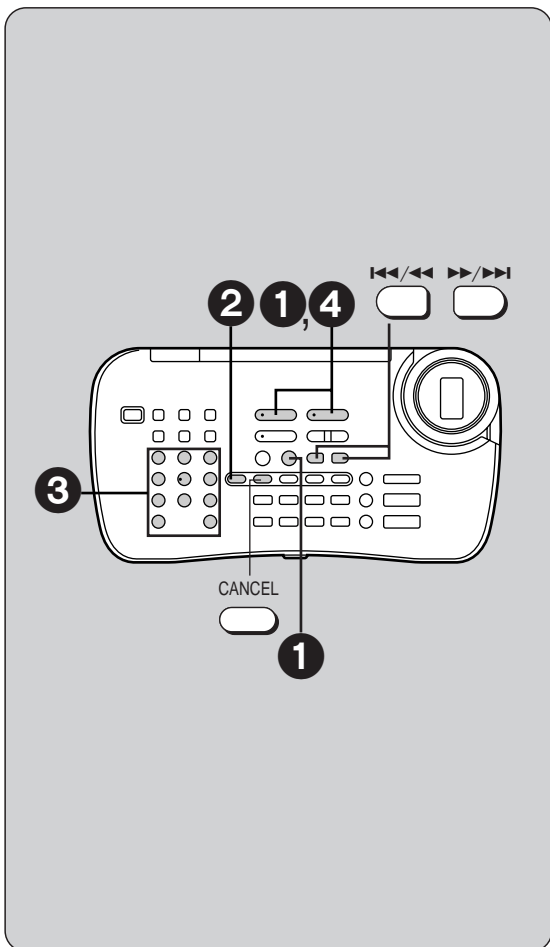
3 [] を押して、曲番を選ぶ
10 以上の曲番を選ぶには
例) 曲番 23: [] [] []
100 以上の曲番を選ぶには
(MD のみ)
例) 曲番 235: [] [] [] [] []

MD 5 --01 → MD 5 4:01
PGM PGM
予約した曲番 予約順 曲番 5 の演奏時間

手順 ③ をくり返して、曲番を選ぶ

MD 8 12:10
PGM
予約した曲の総演奏時間
予約した最後の曲番

4 [MD ▶] または [CD ▶] を押す
予約曲を順に演奏して、自動停止します。



演奏を途中で止めるには

[] を押す

MD PGM 12:10 — “PGM” モード
PGM

“PROGRAM FULL” と表示したら
予約曲数が 24 曲を超えたことを示しています。
これ以上の予約はできません。

“ - - : - - ” と表示したら
予約時間が 250 分に達したことを示しています。
ただし続けて予約をすることができます。

お知らせ

プログラムプレイ中は予約順にスキップします。
(CD のみ)

プログラムプレイ中にサーチすると、演奏中の曲の中でだけ早送り・早戻しします。

プログラムプレイ中は MD 編集できません。

プログラムプレイとランダムプレイを組み合わせて使うことはできません。

プログラム解除するには

停止中に [PRGM] を押して “PGM” を消す。
(予約内容は保持されます。)

もう一度同じ内容で演奏するには

- ① [PRGM] を押して “PGM” モードにする。
- ② [MD ▶] または [CD ▶] を押す。

予約内容を確認するには
[] または [] を押す。
押すたびに、曲番と予約順が表示されます。

予約を追加するには
数字ボタンを押して曲番を選ぶ。

予約を 1 曲ずつ取り消すには
停止中に [CANCEL] を押し、取り消したい曲番を押す。

全曲を取り消すには
停止中に [] を押す。
“PGM CLEAR” が表示され、全曲の予約が取り消されます。

使いかた

順不同に聞く (ランダムプレイ)
演奏をくり返す (リピートプレイ)
好みの曲を予約順に聞く (プログラムプレイ)

放送局を記憶させて聞く

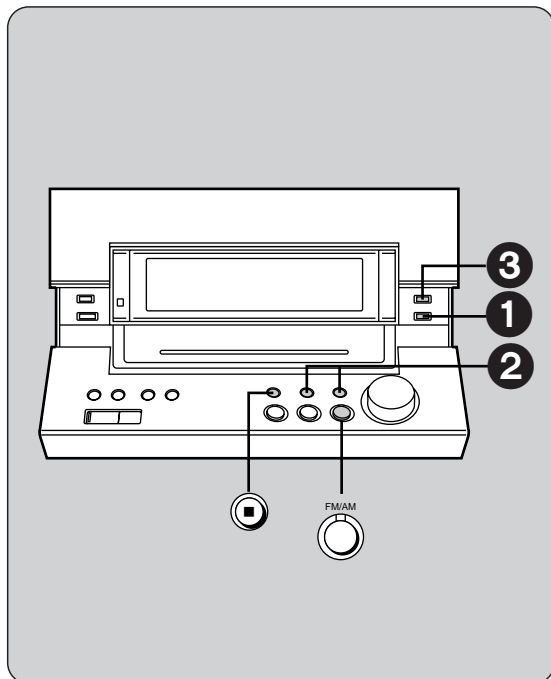
記憶させる

放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聞けます。

FM、AMとも、15局ずつ記憶させられます。

お住まいの地域を選択する（エリアバンク）

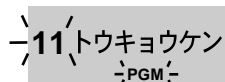
エリア番号を選択するだけで、その地域で受信できる主なFM、AMの放送局を一度に記憶できます。



準備：

- ① CDパネルを開く。(⇒ 10 ページ)
- ② [FM/AM]を押して“FM”または“AM”を選ぶ。
どちらを選んでいても、一度の操作で両方とも設定されます。

1 TUNE MODE/AREA 長押しする



2 押して、エリア番号（下記参照）を選ぶ



3 MEMORY 押す



エリアに記憶されている最初の周波数とチャンネルを表示したあと、放送局名の表示になります。

エリアバンク（2000年4月現在）

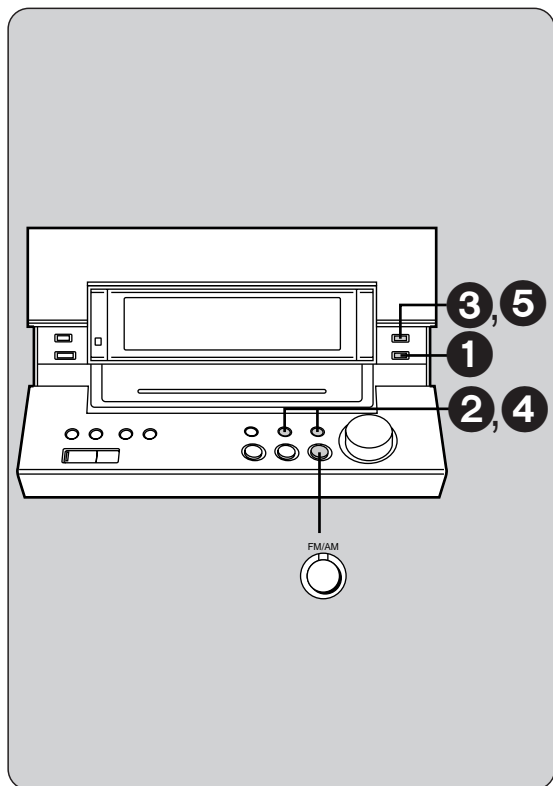
エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	11	東京圏	21	大津	31	松山
2	青森		(東京、横浜、千葉、浦和)	22	奈良	32	高知
3	秋田	12	甲府	23	和歌山	33	福岡
4	盛岡	13	松本	24	大阪圏	34	北九州
5	山形	14	静岡		(大阪、神戸、京都)	35	佐賀
6	仙台	15	名古屋圏	25	鳥取	36	長崎
7	福島		(名古屋、岐阜)	26	松江	37	大分
8	宇都宮	16	津	27	広島	38	熊本
9	水戸	17	新潟	28	山口	39	宮崎
10	前橋	18	富山	29	高松/岡山	40	鹿児島
		19	金沢	30	徳島	41	那覇
		20	福井				

途中で解除するには

[] を押す。
元の表示に戻ります。

好みの局だけ指定する (マニュアルメモリー)

たとえば、エリアバンク指定後の空きチャンネルに、好みの局を記憶させたりして使います。



準備:

- ① CD パネルを開く。(⇨ 10 ページ)
- ② [FM/AM]を押して“FM”または“AM”を選ぶ。
(TV 音声受信時は“FM”)

- 1 TUNE MODE/AREA 押して、“MANUAL”を選ぶ

MANUAL

押すたびに
MANUAL ⇄ PRESET

- 2 押して、周波数を合わせる

- 3 MEMORY 押す

PROGRAM ch
PGM

- 4 “PGM”点滅中に 押して、
チャンネルを選ぶ

PROGRAM ch 5
チャンネル

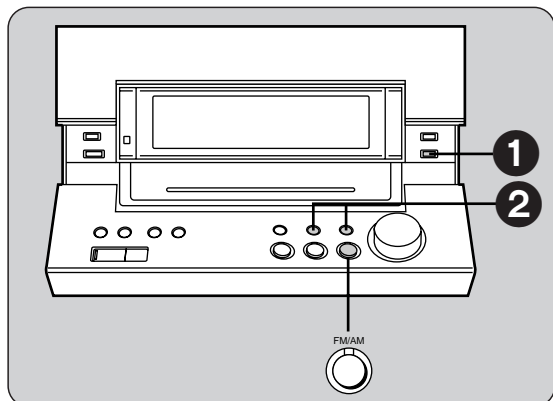
- 5 MEMORY 押す

続けて記憶させるには手順②－⑤を繰り返す。

記憶させた放送局を聞く (プリセットチューニング)

準備:

- ① CD パネルを開く。(⇨ 10 ページ)
- ② [FM/AM]を押して“FM”または“AM”を選ぶ。
(TV 音声受信時は“FM”)



- 1 TUNE MODE/AREA 押して、“PRESET”を選ぶ

PRESET

押すたびに
MANUAL ⇄ PRESET

- 2 押して、チャンネルを選ぶ

FM 80.2MHz

チャンネル

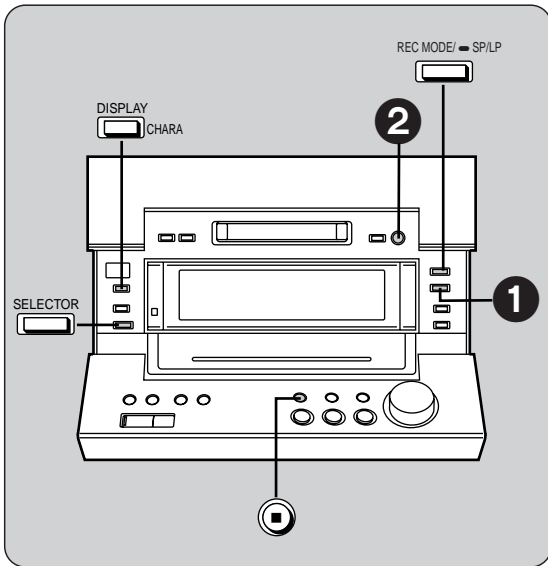
エリアバンクに記憶されている放送局のときは、自動的に放送局名の表示になります。

いろいろな録音

CDの全曲を自動で録音する (AUTO RECモード)

準備:

- ① 録音用 MD を入れる。(⇨ 13 ページ)
- ② CD トレイを開き、CD を入れる。(⇨ 15 ページ)
(CD トレイは閉める。)
- ③ [SELECTOR] を押して “CD” を選ぶ。



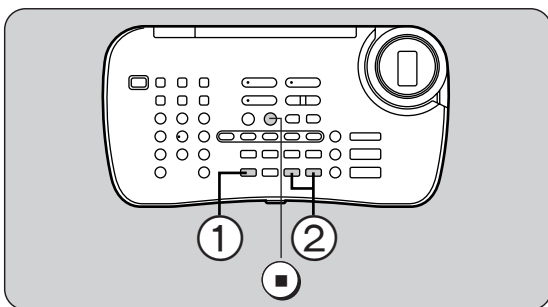
- ① **CD EDIT** を押して、“AUTO REC” を選ぶ



- ② **REC/II** を押す

CD → MD → CD 1 0:01

1 曲目から録音が始まります。
録音が終わると、AUTO REC モードは解除され、“AUTO” 表示も消えます。



リモコンでも録音操作ができます

- ① [CD EDIT] を押して “AUTO REC” を選ぶ。
- ② [REC] (2 つボタン) を同時に押して、録音を始める。

CDの好みの曲を録音するには

- ① 録音したい曲をプログラムする。(⇨ 21 ページ)
- ② [CD EDIT] を押して、“AUTO REC” を選ぶ。
- ③ [REC/II] を押して録音を始める。

録音を途中で止めるには

[] を押す。
“UTO Writing” の点滅後、録音が停止します。

MD の残り時間を確認するには
[DISPLAY] を残り時間表示になるまで数回押す。

お知らせ

AUTO REC モードのときは、ランダムプレイ、リピートプレイはできません。
最後まで入りきらない曲は録音されません。

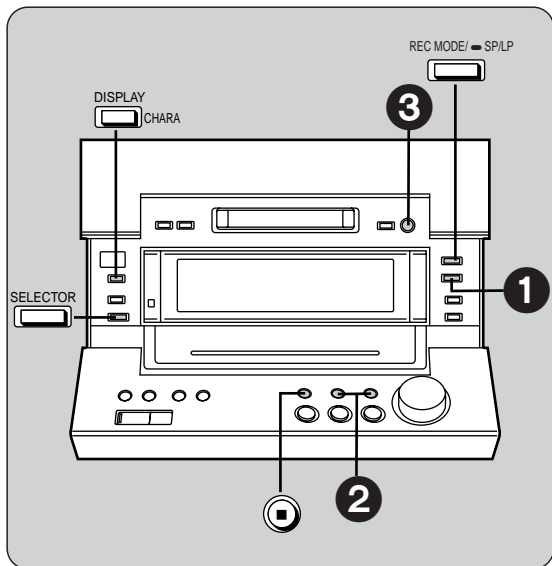
(本体のみ)

MD モード以外で [REC MODE / - SP/LP] を長押しし、SP/LP 録音モードを変えることもできます。

CDの好みの1曲を録音する(1-RECモード)

準備:

- ① 録音用MDを入れる。(☞ 13 ページ)
- ② CDトレイを開き、CDを入れる。(☞ 15 ページ)
(CDトレイは閉める。)
- ③ [SELECTOR]を押して“CD”を選ぶ。



- ① 押して、“1-REC”を選ぶ



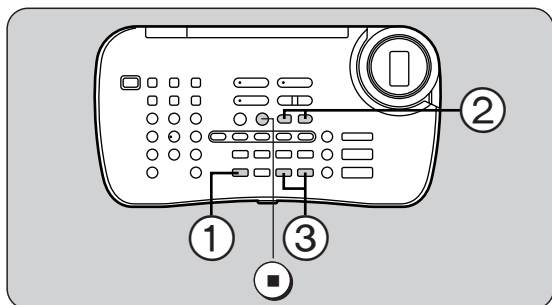
- ② または 押して、曲番を選ぶ

CD 3 3:22
1-REC

- ③ 押す

CD → MD → CD 3 0:01

録音が始まります。



リモコンでも録音操作ができます

- ① [CD EDIT] を押して“1 REC”を選ぶ。
- ② [◀/▶] または [▶/▶▶] を押し、曲番を選ぶ。
- ③ [REC] (2 つボタン) を同時に押して、録音を始める。

録音を途中で止めるには

[] を押す。

“UTOC Writing”の点滅後、録音が停止します。

お知らせ

(本体のみ)

MDモード以外で[REC MODE/- SP/LP]を長押し、SP/LP録音モードを変えることもできます。

1-RECモードを解除するには

[CD EDIT] を押して、“OFF”を選ぶ。

MDの残り時間を確認するには

[DISPLAY] を残り時間表示になるまで数回押す。

使いかた

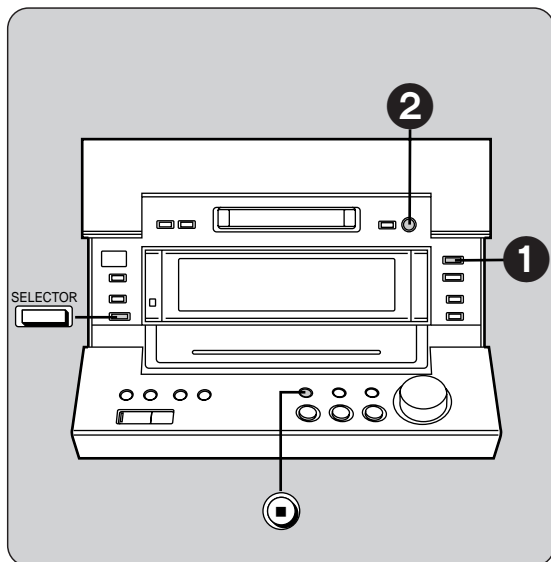
CDの全曲を自動で録音する(AUTOREC)
CDの好みの1曲を録音する(1-REC)

いろいろな録音(つづき)

CD を倍速で録音する

準備:

- ① 録音用 MD を入れる。(⇒ 13 ページ)
- ② CD トレイを開き、CD を入れる。(⇒ 15 ページ)
(CD トレイは閉める。)
- ③ [SELECTOR] を押して “CD” を選ぶ。



- ① **REC MODE/SP/LP** を押して、“HIGH-SPEED” (倍速) を選ぶ

HIGH-SPEED

HI-SPEED

押すたびに
NORMAL-SPEED ⇄ HIGH-SPEED

- ② **REC II** を押す

CD → MD → CD 1 0:01

1 曲目から倍速で録音が始まります。

録音を途中で止めるには

[] を押す。

“UTOC Writing” の点滅の後、録音が停止します。

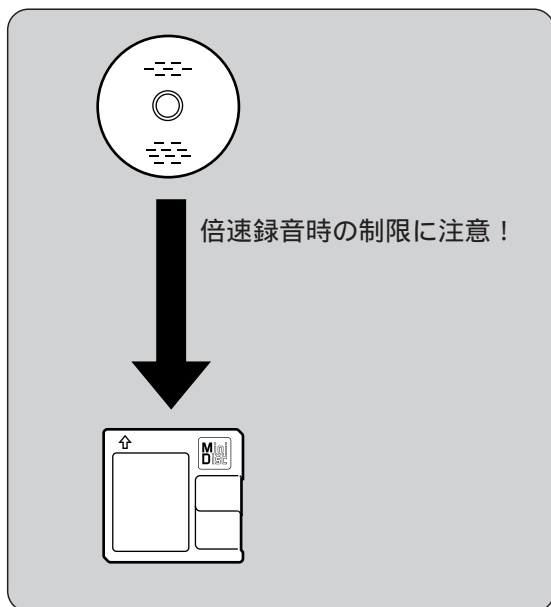
お知らせ

“AUTO REC”、“1-REC”ともに倍速で録音することができます。
CD 以外のモードにするか、電源を切ると倍速録音は解除されます。

プログラムプレイ、リピートプレイ、ランダムプレイと倍速録音を組み合わせることはできません。
MD モード以外で [REC MODE/ - SP/LP] を長押しし、SP/LP 録音モードを変えることもできます。

倍速録音の制限について

この製品の倍速録音は、著作権保護を目的としたコピー管理システムを採用しています。



この製品は、録音を開始した時点から 74 分間は、同じ曲を倍速で録音することができないようになっています。

録音を途中で止めたときも、同じ曲は続けて倍速で録音することはできません。

たとえば 20 分間で録音がおわったときは、あと 54 分間は、その曲を倍速で録音できません。(定速では録音できます。)

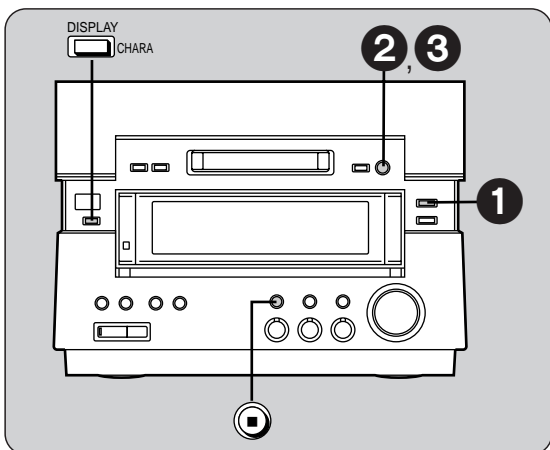
一度に 50 曲まで録音できます。

倍速録音を始めて、74 分以内に 50 曲の録音を終了した場合、最初に倍速録音を始めた時点から 74 分が経過するまで、51 曲目の録音はできません。

上記の操作をしたとき、本体表示部に “PLEASE WAIT” と “- - min” が交互に点滅します。

ラジオを録音する

ラジオのアナログ信号をデジタル信号に変換して録音します。



録音モード

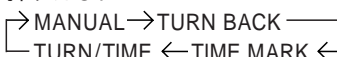
- マニユアル
MANUAL : 通常の録音モードです。
- ターンバック
TURN BACK : 頭切れを防ぐために、数秒前の音から録音するモードです。ラジオやCS/BS放送を録音するとき使います。
- タイムマーク
TIME MARK : 5分毎に、トラックマークが自動的に付くモードです。ラジオから録音するときなどに使います。
- ターンタイム
TURN/TIME : 数秒前の音から録音し、5分毎にトラックマークが自動的に付くモードです。ラジオなどから録音するとき使います。

準備:

- ① 録音用 MD を入れる。(⇨ 13 ページ)
- ② 録音したい放送局を受信する。

- ① REC MODE/ SPLP 押して、録音モードを選ぶ
TURN BACK
TURN BACK (例: TURN BACK)

押すたびに



TURN BACK、TURN/TIME 選択時

- ② ●REC|| 押す
TURN BACK
TURN BACK
↕
STANDBY
TURN BACK

“TURN BACK” の表示が点滅 点灯に変わるまでお待ちください。

- ③ ●REC|| 押す
録音が始まります。

途中で止めるには

- [] を押す。
- “UTOC Writing” の点滅後、録音が完了します。
- 一時停止するには
- [REC/||] を押す。(再開するには、もう一度押す)

MD の残り時間を知るには

[DISPLAY] を残り時間表示になるまで数回押す。

お知らせ

エリアバンクで記憶させた放送局を録音すると、放送局名が曲の名前(トラックタイトル)として記録されます。
[REC MODE/ - SP/LP] を長押しし、SP/LP 録音モードを変えることもできます。

使いかた

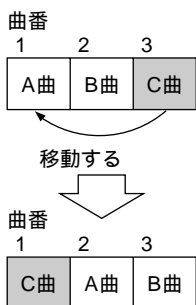
CD を倍速で録音する
ラジオを録音する

MD を編集する

曲順を入れ替えたり、不要な部分を削除したりして、自分だけのオリジナル MD を作成することができます。(録音用 MD のみ)

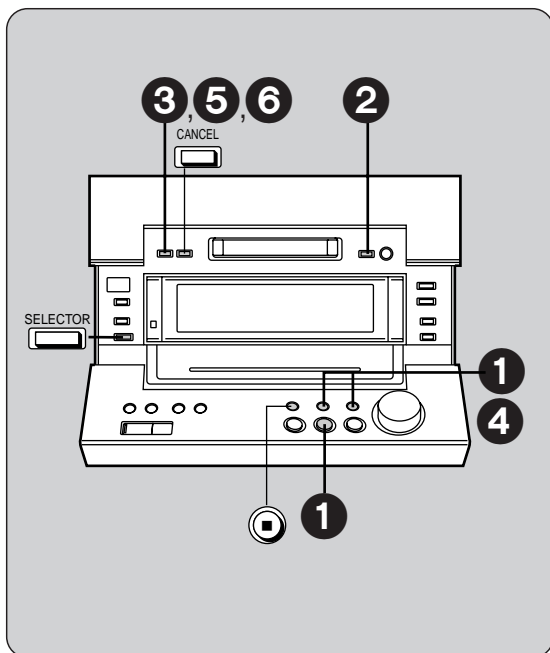
曲を移動する (ムーブ)

例：曲番 3 を、1 曲目に移動する。



準備：

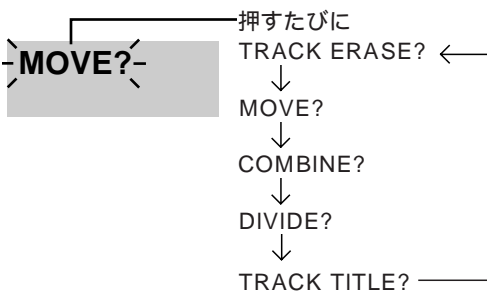
編集したい MD を入れる。(→ 13 ページ)



- ① → 押して、移動する曲の演奏を始める

MD 3 0:01

- ② 押して、“MOVE?” を選ぶ



- ③ 押す

MOVE → 3 → --?--

- ④ 押して、移動先を選ぶ

3 → -1?-

- ⑤ 押す

3 → 1? ⇔ PUSH ENTER

- ⑥ 押す

“UTOC Writing” の点滅後、編集が完了。

-UTOC Writing-

途中で解除するには

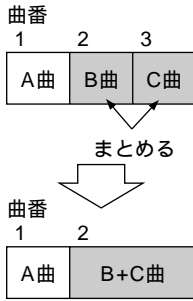
[] または [CANCEL] (本体のみ) を押す。

停止中でもできます

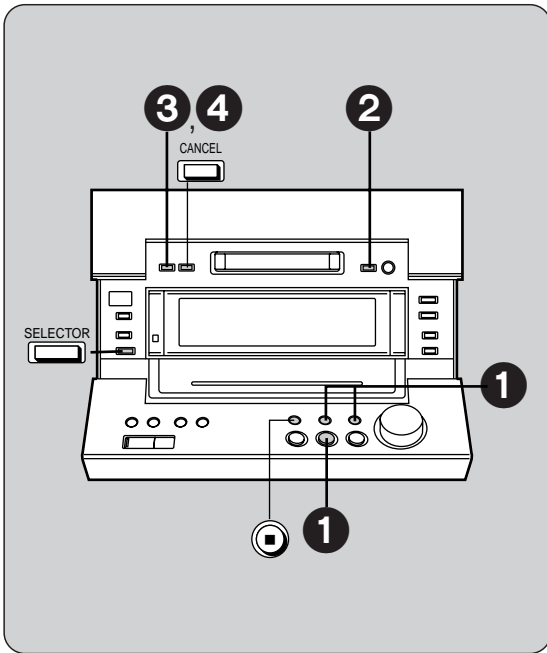
- ① [SELECTOR] を押して “MD” を選ぶ。
- ② [◀] [▶] で移動する曲を選ぶ。
- ③ [MD EDIT] を押して “MOVE?” を選ぶ。
- ④ [ENTER] を押す。
- ⑤ [◀] [▶] で移動先を選ぶ。
- ⑥ [ENTER] を押す。
- ⑦ [ENTER] を押す。

2曲を1つにまとめる(コンバイン)

例：曲番2と3を、1つにまとめる。



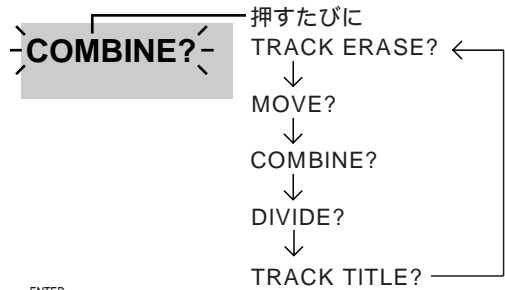
準備：
編集したいMDを入れる。(☞ 13 ページ)



- ① →
押して、まとめる 2 曲の後ろの曲の演奏を始める

MD 3 0:01

- ② 押して、“COMBINE?” を選ぶ



- ③ 押す

2 + 3 ? ↔ PUSH ENTER

- ④ 押す

“UTOC Writing” の点滅後、編集が完了。

途中で解除するには

[] または [CANCEL] (本体のみ) を押す。

編集前の状態に戻すには

ディバイド機能(☞ 30 ページ)をお使いください。

停止中でもできます

- ① [SELECTOR] を押して “MD” を選ぶ。
- ② [◀▶] [▶▶] でまとめる 2 曲の後ろの曲を選ぶ。
- ③ [MD EDIT] を押して “COMBINE?” を選ぶ。
- ④ [ENTER] を押す。
- ⑤ [ENTER] を押す。

お知らせ

2 曲を 1 つにまとめると、後ろの曲に付いていたタイトルは消え、前の曲のタイトルになります。

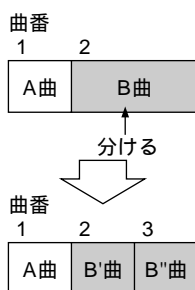
SP モードで録音された曲と LP モードで録音された曲は、1 つにまとめられません。

1 曲目を選んだときは “COMBINE?” は表示されません。

MD を編集する (つづき)

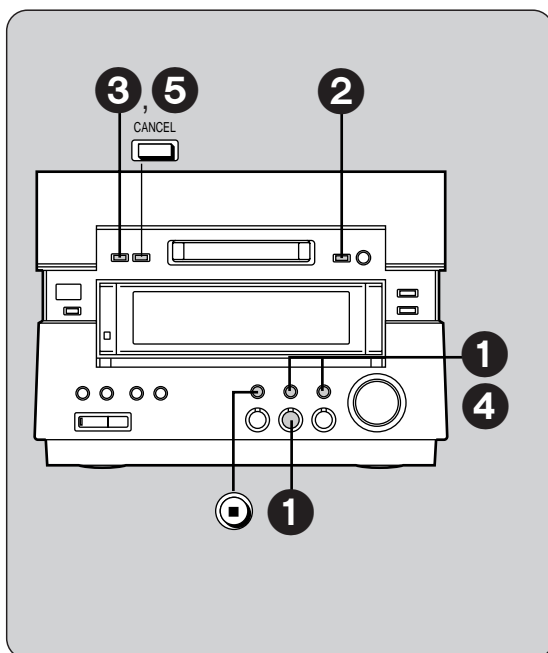
1 曲を 2 つに分ける (ディバイド)

例：曲番 2 を、2 つに分ける。



準備：

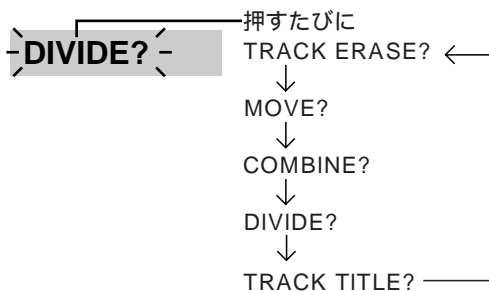
編集したい MD を入れる。(☞ 13 ページ)



- 1 → 押して、2 つに分ける曲の演奏を始める

MD 2 0:01

- 2 押して、“DIVIDE?” を選ぶ



- 3 おおよその分けたい位置で 押す

DIVIDE → POS +000?

分けた位置からの 4 秒間を繰り返し演奏します。
(モノラルでは 8 秒間)

- 4 押して正確な位置を調節する

POS +020?

前後 8 秒で調節できます。

(モノラルでは 16 秒)

数値は - 128 から + 127 の範囲で表示されます。

- 5 押す

UTOC Writing

“UTOC Writing” 点滅後、編集が完了します。
分けた位置にトラックマークがつきます。

途中で解除するには

[] または [CANCEL] (本体のみ) を押す。

編集前の状態に戻すには

コンパイン機能 (☞ 29 ページ) をお使いください。

お知らせ

タイトルのついた曲を 2 つに分けると、後ろの曲はタイトルなしになります。

曲を消す(イレース)

イレースには次の2種類があります。

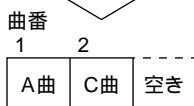
トラックイレース
TRACK ERASE : 1曲/数曲(最大24曲)を消
したいとき

オールイレース
ALL ERASE : 一度に全曲を消したいとき

トラックイレース
TRACK ERASE



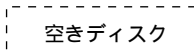
消す



オールイレース
ALL ERASE

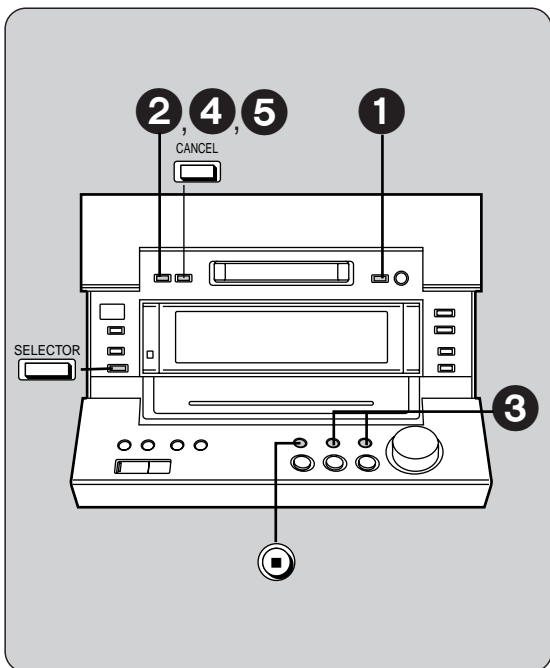


消す



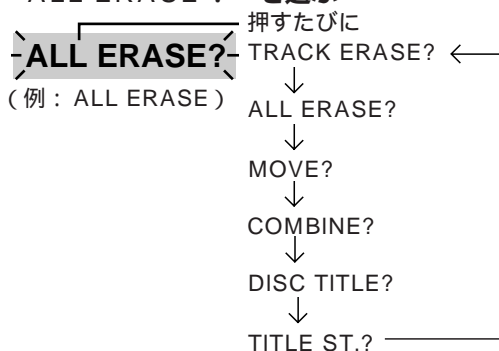
準備 :

- ① 編集したいMDを入れる。(→ 13 ページ)
- ② [SELECTOR] を押してMDを選ぶ。



1 停止中に 押して

“ TRACK ERASE ? ” または
“ ALL ERASE ? ” を選ぶ



2 押す

(ALL ERASE のとき)

ALL ERASE? ↔ PUSH ENTER

(TRACK ERASE のとき)

TRACK ERASE → ERASE -? ←

1 曲 / 数曲を消す (TRACK ERASE)

3 押して、消したい曲番を選ぶ

ERASE 2? ←

4 押す

ERASE 2? ↔ PUSH ENTER

続けて消したいときは手順③、④をくり返す

5 押す

UTOC Writing ←

TRACK ERASE :

“ UTOC Writing ” 点滅後、編集が完了します。

ALL ERASE :

“ UTOC Writing ” “ BLANK DISC ” 表示
になり、編集が完了します。

途中で解除するには
[] または [CANCEL] (本体のみ) を押す。

“ SELECT OVER ” と表示したら
24 曲を超えて消そうとしました。
これ以上は消せません。

トラックイレースは演奏中(または一時停
止中)でもできます

- ① 消したい曲を演奏(または一時停止)する。
- ② [MD EDIT] を押して“ TRACK ERASE ? ” を選ぶ。
- ③ [ENTER] を押す。
- ④ [ENTER] を押す。

使いかた

1 曲を2つに分ける(ディバイド)
曲を消す(イレース)

MD にタイトルを付ける

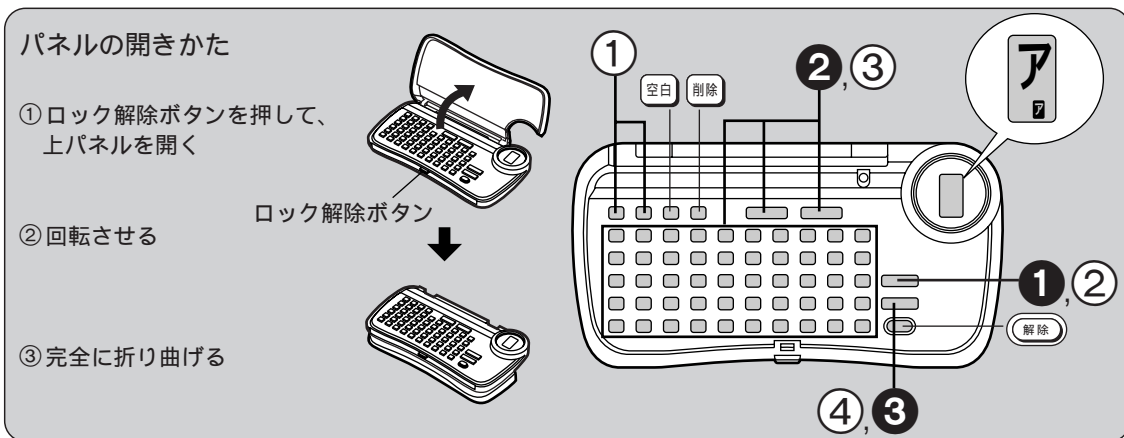
MDの名前（ディスクタイトル）や曲の名前（トラックタイトル）が各100文字まで記録できます。1枚のMDにはアルファベットで約1700文字記録できます。（文字の種類、曲数などの関係で、少し減ることがあります。）

文字の種類
 カタカナ（大）：アイウエオなど
 カタカナ（小）：アィウヱォなど
 英字（大）：A B C D E F G など
 英字（小）：a b c d e f g など
 数字：0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
 記号：! " # \$ % & ' () * + , - . / : など

録音済み MD にタイトルを付ける

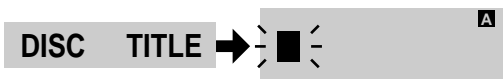
リモコンで入力するには

- 準備：① タイトルを付けたいMDを入れる。（⇨ 13 ページ）
 ② 上パネルの [MD ▶] [] を押して、MDモードにする。



ディスクタイトルを付ける

- ① 停止中に [文字入力] 押す



- ② 文字を入力する

- ① [英数・記号(大/小)] [カタカナ(大/小)] 押して

文字の種類を選ぶ
 押すたびに（リモコン液晶ディスプレイ）



英数・記号（大/小） カタカナ（大/小）

- ② [実行] 押す



文字が確定され、自動的にカーソルは右に移ります。

手順①、②をくり返してディスクタイトルを入力する。

- ③ [実行] 押す

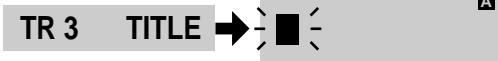


“UTOC Writing”点滅後、タイトル入力完了。トラックタイトルの入力待機画面になります。

トラックタイトルを付ける

- ① 停止中に [戻る] [進む] 押して、曲番を選ぶ

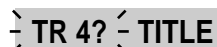
- ② [文字入力] 押す



- ③ 文字を入力する（⇨ 左記）

- ④ [実行] 押す

“UTOC Writing”点滅後、次のトラックタイトル入力待機画面になります。

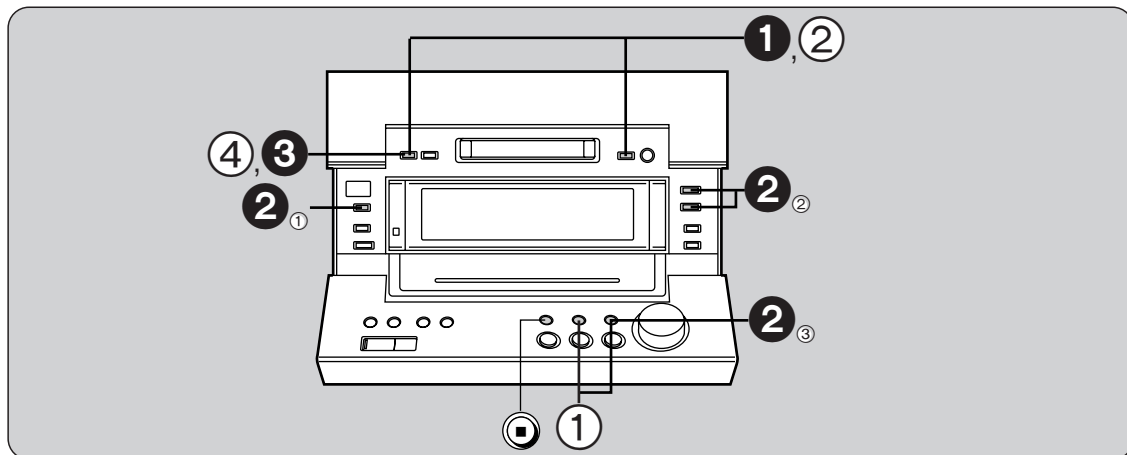


手順②-④をくり返し、必要なタイトルを入力する。

すべてのトラックタイトルの入力が終わると、ディスクタイトルの入力画面になります。

本体で入力するには

- 準備：① タイトルを付けたいMDを入れる。(⇨ 13 ページ)
 ② [▶/⏮、MD] [] を押して、MDモードにする。



ディスクタイトルを付ける

- ① 停止中に **MD EDIT** を押して
 “DISC TITLE ?” を選び、**ENTER** を押す
 - ② 文字を入力する
 - ① **DISPLAY CHARA** を押して文字の種類を選ぶ
 - ② **REC MODE / SPLP** を押して、文字を選ぶ
 - ③ **CD EDIT** を押して文字を確定する
- 自動的にカーソルは右に移ります。
- ③ **ENTER** を押す
 “UTOC Writing” 点滅後、タイトル入力完了。

トラックタイトルを付ける

- ① 停止中に **◀▶** を押して、曲番を選ぶ
 - ② **MD EDIT** を押して “TRACK TITLE ?” を選び、**ENTER** を押す
 - ③ 文字を入力する (⇨ 左記)
 - ④ **ENTER** を押す
 “UTOC Writing” 点滅後、次のトラックタイトル入力待機画面になります。
- 続けて入力するときは、**MD EDIT** を押す。

文字を訂正するには

- ① [←] または [→] (本体では [◀◀] または [▶▶]) でカーソルを動かし、訂正する文字の上に置く。
- ② 新しい文字を入力する。
 以前の文字が消え、新しい文字が入ります。

文字を削除するには

- ① [←] または [→] (本体では [◀◀] または [▶▶]) でカーソルを動かし、削除する文字の上に置く。
- ② [削除] (本体は英数記号の中の [X]) を選んだあと [▶▶] を押す。
 カーソル位置の文字が削除され、後ろに文字があるときは前に詰まります。

文字の間に新しい文字を入れるには

- ① [←] または [→] (本体では [◀◀] または [▶▶]) でカーソルを動かし、挿入位置の右の文字の上に置く。
- ② 間に入れる文字の数だけ [空白] を押す。(本体では [], [] で英数記号の中の “ ” を選んだあと [▶▶] を押す。間に入れる文字の数だけくり返す。)
- ③ 新しい文字を入力する。

入力を途中でやめるには

[解除] (本体では []) を押す。
 ただし、すでに [実行] (本体は [ENTER]) を押して確定したタイトルは残ります。

お知らせ

文字の種類はリモコン / 本体ともに入力中でも切り換えられます。

リモコンでは以下の記号が入力できません。本体から入力してください。

* @ \$; < > ` ` _

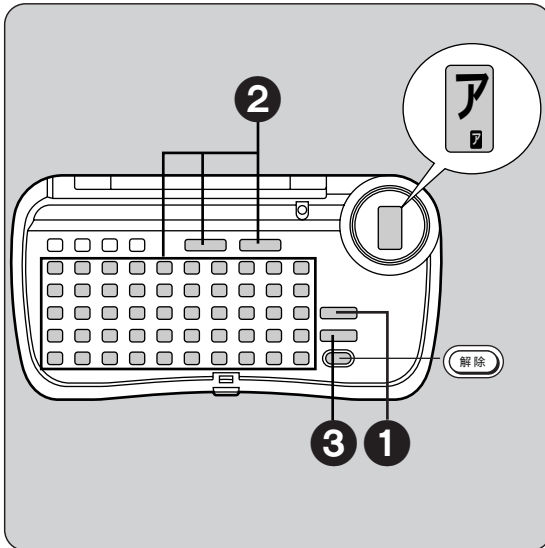
濁点や半濁点は、表記可能なカタカナの後ろにだけ入力できます。あり得ない表記の場合は選択候補として表れません。

文字と、濁点 / 半濁点の間に空白などは入れられません。

入力中に最大文字数を越えた場合は、“TITLE FULL” と表示したあと、末尾の文字を上書きします。

MD にタイトルを付ける (つづき)

録音中にまとめてトラックタイトルを付ける



1 録音中に **文字入力** を押す

録音される 1 曲目のタイトル入力画面になります。



(例：曲番 3 から録音を始めた場合)

2 文字を入力する

① **英数・記号(大/小)** **カタカナ(大/小)** を押して

文字の種類を選ぶ
押すたびに (リモコン液晶ディスプレイ)



英数・記号 (大/小) カタカナ (大/小)

② **押す**



文字が確定され、自動的にカーソルは右に移ります。

手順①、②をくり返してトラックタイトルを入力する。

3 **実行** を押す



2 曲目のタイトル入力待機画面になります。

手順① - ③をくり返して、全曲を入力します。
(曲名を入力しなくても、[実行]を押すと、次の曲に進みます。)

最後の曲で[実行]を押すと、“TITLE WRITE”表示したあと、通常表示に戻ります。

途中で解除するには

[解除]を押す。

入力が解除されます。ただし、[実行]を押して確定したタイトルは記憶されています。

録音した MD の演奏中にタイトルを付けることもできます (演奏中の曲のみ)

① 演奏中に[文字入力]を押す。

② 文字を入力する。

③ [実行]を押す。

“TITLE WRITE”表示したあと、通常表示に戻ります。

お知らせ

録音 / 演奏が次の曲に移っても、タイトルが次の曲に付くことはありません。

入力中に録音 / 演奏が終了した場合、入力状態は解除されます。ただし、[実行]を押して確定したタイトルは記録されています。

演奏中にタイトルを付けたあと、“UTOC”の点灯中は、文字入力以外の編集はできません。一度、[]を押して、“UTOC Writing”の点滅後に行ってください。

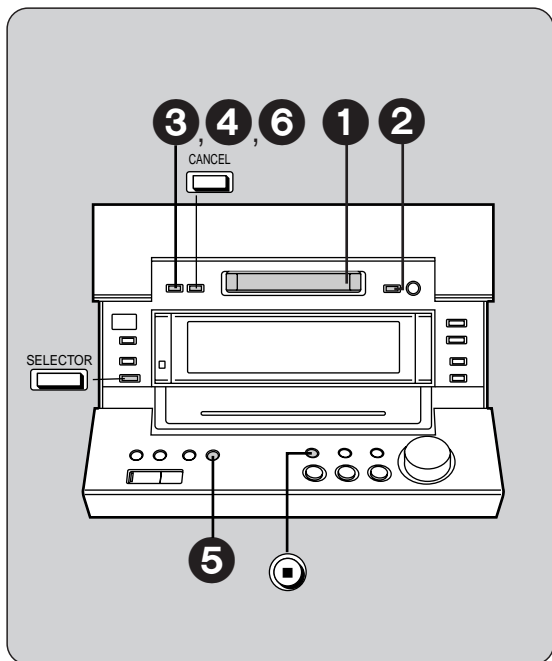
本体で入力するときは、33 ページを参照してください。

他の MD にタイトルをコピーする (タイトルステーション)

MD のディスク/トラックタイトルを別の MD にそのままコピーできます。一度タイトルを入れておけば、2 度目からは入力の手間が省けます。下記の「タイトルをコピーする前に」をお読みください。

準備：

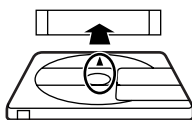
[SELECTOR] を押して MD を選ぶ。



タイトルをコピーする前に

コピー元とコピー先の MD の曲数が同じときだけコピーできます。演奏専用 MD や、未録音の MD (BLANK DISC) は使用できません。すでにタイトルの入っている MD にタイトルをコピーすると、以前のタイトルはすべて消えます。

1 コピー元の MD を入れる



2 停止中に 押して “TITLE ST.?” を選ぶ

— TITLE ST. ? —

押すたびに
DISC TITLE? TITLE → ST.?
↑ ↓
COMBINE? TRACK ERASE?
↑ ↓
MOVE? ALL ERASE?

3 押す

TITLE ST. ? ↔ PUSH ENTER

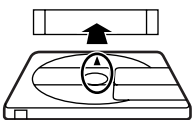
4 押す

“EJECT MD” と表示されるまで、しばらくお待ちください。

— TITLE MEMORY — → EJECT MD

5 押して、コピー先の MD と入れ替える

INSERT MD



Writing OK? ↔ PUSH ENTER

6 押す

— UTOC Writing —

“UTOC Writing” 点滅後、コピーが完了

途中で止めるには

[] または [CANCEL] (本体のみ) を押す。

お知らせ

本機が記憶できるタイトルは MD1 枚分です。電源を切ると本機のタイトル記憶は失われます。

使いかた

録音中にまとめてトラックタイトルを付ける
他の MD にタイトルをコピーする

タイマーを使う

おめざめタイマーを使う

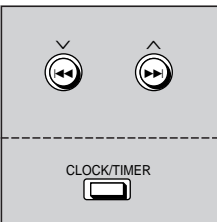
準備：①電源を入れる。
②時計を合わせる。
(⇨10 ページ)

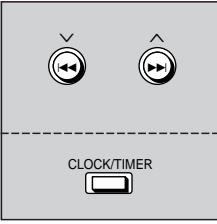
設定した時刻に電源が入り、好みのソース（音源）を演奏し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

時刻設定を一度しておくで、あとはソースの設定を変えるだけで、違うソースで使えます。

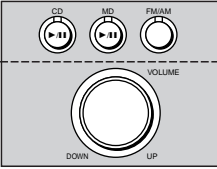
時刻設定

1  2回押して
おめざめタイマー時刻設定画面にする

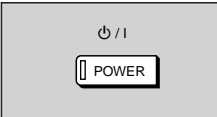
2  約10秒以内に、押し
開始時刻に合わせ
↓
押す

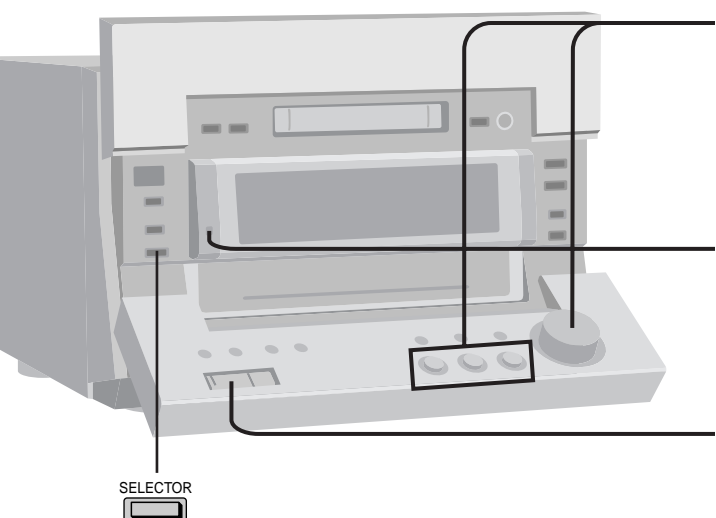
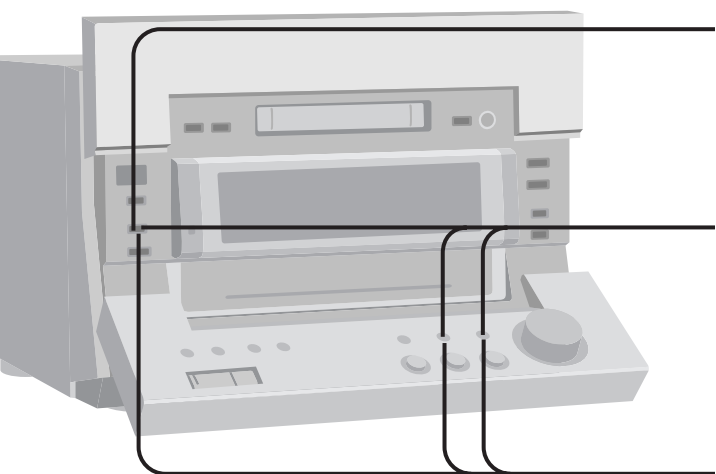
3  押し
終了時刻に合わせ
↓
押す

ソース・音量・タイマー実行設定

4  **ソースと音量を選ぶ**
①ソースを演奏し、
②音量を調節、
③ MD・CDは演奏を止める。

5  押して
“TIMER-PLAY”を選ぶ

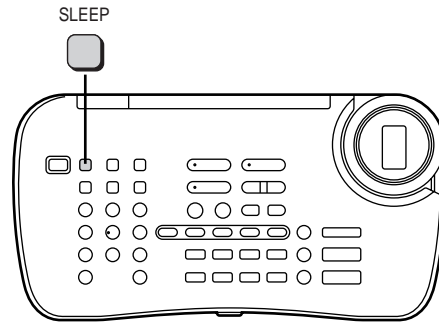
6  押して
電源を切る



おやすみタイマーを使う

リモコンのみ

指定した時間が経過すると、演奏を停止し、自動的に電源が切れます。



ソースを聞きながら
[SLEEP] を押して演奏時間を指定する



押すたびに
SLEEP 30 → 60 → 90 → 120 → OFF

(単位：分)

解除するには
[SLEEP] を押して “ SLEEP OFF ” を選ぶ。

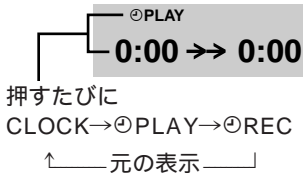
残り時間を確かめるには
[SLEEP] を 1 回押す。
残り時間が表示されます。

残り時間を変えるには
[SLEEP] を押して、新たに時間を指定する。

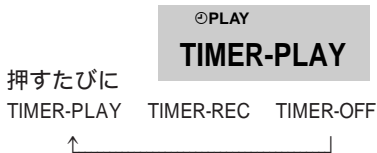
お知らせ

おやすみタイマーは、おめざめ / 留守録タイマーと組み合わせて使えます。常におやすみタイマーが優先するため、組み合わせるときは、予約時間が重ならないようにしてください。

表示例) 6 : 30 ~ 7 : 40 ま
で好みのソースを演奏
する場合



外部機器を使ったタイマー設定
[SELECTOR] を押し、AUX または
EXT-IN にしたあと、接続した機器
を本機と同時刻に動作するように設
定してください。

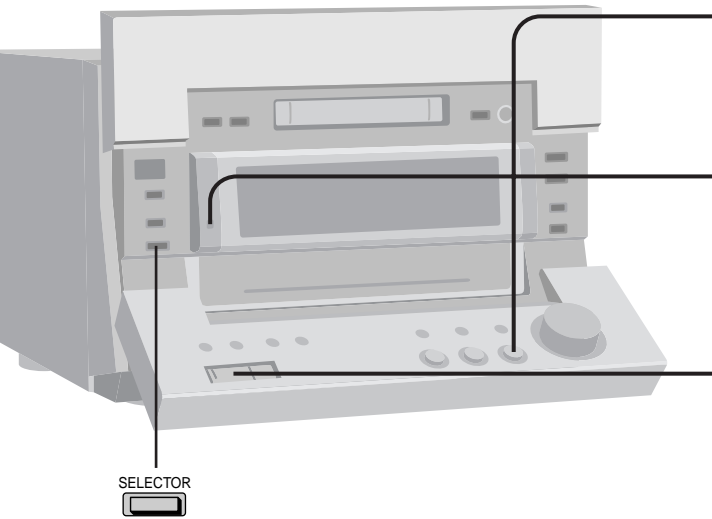
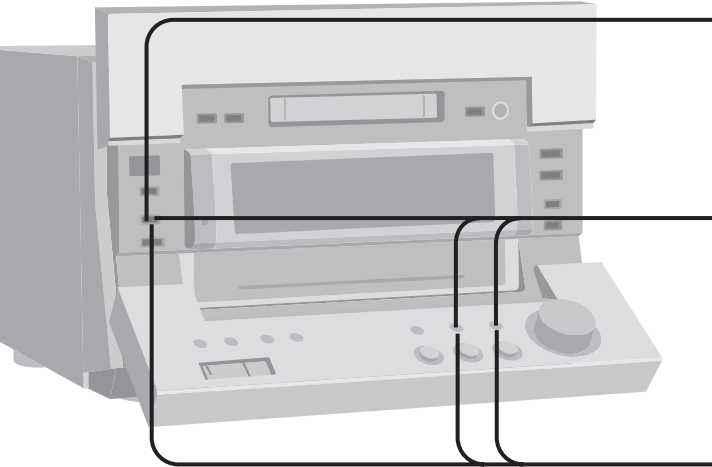


設定した時刻になると、決めた音量
までフェードイン (徐々に大きく)
して、演奏します。

タイマーを使う (つづき)

留守録タイマーを使う

- 準備：①電源を入れる。
②時計を合わせる。
(⇨10 ページ)
③録音用 MD を入れる。

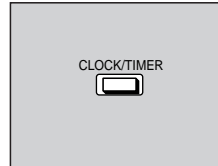


SELECTOR

設定した時刻に電源が入り、ラジオ放送を録音し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

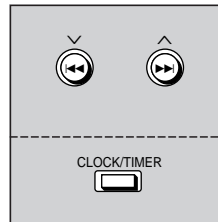
時刻設定

1



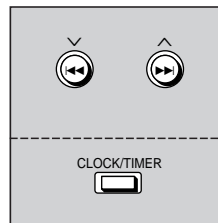
3 回押して
**留守録タイマー
時刻設定画面
にする**

2



約 10 秒以内に、押し
開始時刻に合わせ
↓
押す

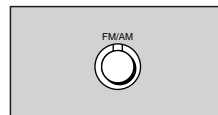
3



押し
終了時刻に合わせ
↓
押す

ソース・タイマー実行設定

4



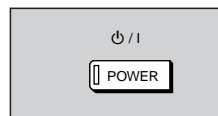
押して
**放送局を受信
する**

5



押して
**“TIMER-
REC” を選ぶ**

6



押して
電源を切る

解除するには (電源「入」時)
[⏻PLAY / ⏻REC] を押して、“TIMER-OFF” を選ぶ。

いろいろなタイマー操作について

表示例) 18:30 ~ 20:00
まで好みの放送を録音
する場合

おめざめタイマー・留守録タイマー共通

予約した内容を確認するには

電源「切」のとき

[⊙PLAY/⊙REC]を押す。

自動的に以下の表示を数秒間ずつ行います。

おめざめタイマー

開始・終了時刻 ソース(音源) 音量

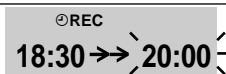
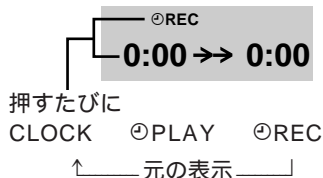
留守録タイマー

開始・終了時刻 ソース(音源) ソースと録音先

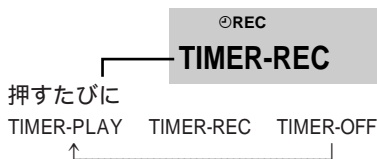
電源「入」のとき

[CLOCK/TIMER]を押して、“⊙PLAY”または“⊙REC”を表示させる。

開始・終了時刻のみが表示されます。



外部機器を使ったタイマー設定
[SELECTOR]を押し、AUXまたは
EXT-INにしたあと、接続した機器
を本機と同時刻に動作するように設
定してください。



頭切れ防止のため、設定した時刻の
30秒前になると、タイマー動作が
始まります。

録音時、音量は自動的に最小になります。

操作をまちがえたり、予約内容を変えるときは
電源を入れ、最初からやり直す。

予約したあとに、本機で演奏を楽しむには

①電源を入れ、通常の演奏操作をする。

②演奏後は、電源を切る。

音量やソースを変更しても、予約内容には影響しません。

タイマー動作する/動作しないを切り換えるには

タイマーは、“⊙PLAY”(または⊙REC)が表示中は、予約通りに
毎日動作します。動作させないときは、[⊙PLAY/⊙REC]を押して、
“⊙PLAY”(または⊙REC)の表示を消します。

お知らせ

タイマーを使うときは、必ず電源を切ってください。電源が入って
いると動作しません。

録音するときには、あらかじめ好みのMD録音モードにして、留守
録タイマーを使うこともできます。(選べるモードはソースによっ
て異なります。)

ただし、TURN BACKまたはTURN/TIMEモードを選んでも、手
順2で設定した開始時刻から録音が始まります。

MD ネットワーク機能を使う

MD ネットワーク対応のポータブル MD プレーヤーや、ビジュアル/タイトルプリンター（ともに別売り）と組み合わせることで、MD の楽しさがさらに広がります。

ポータブル MD プレーヤー（MD ネットワーク対応）をつなぐ

本機からポータブル MD プレーヤーをコントロールして、録音/タイトルコピーが簡単に行えます。

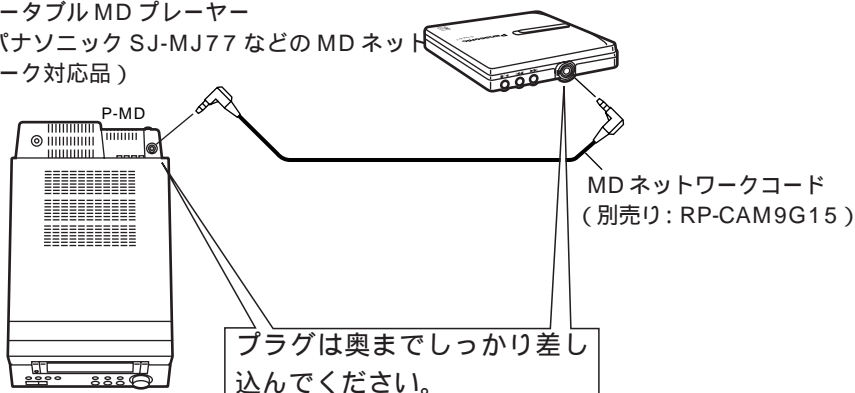
電源を切った状態で接続してください。

対応品



カタログにこのマークが付いているポータブル MD プレーヤーです。
(SJ-MJ77 など)

ポータブル MD プレーヤー
(パナソニック SJ-MJ77 などの MD ネットワーク対応品)



お願い

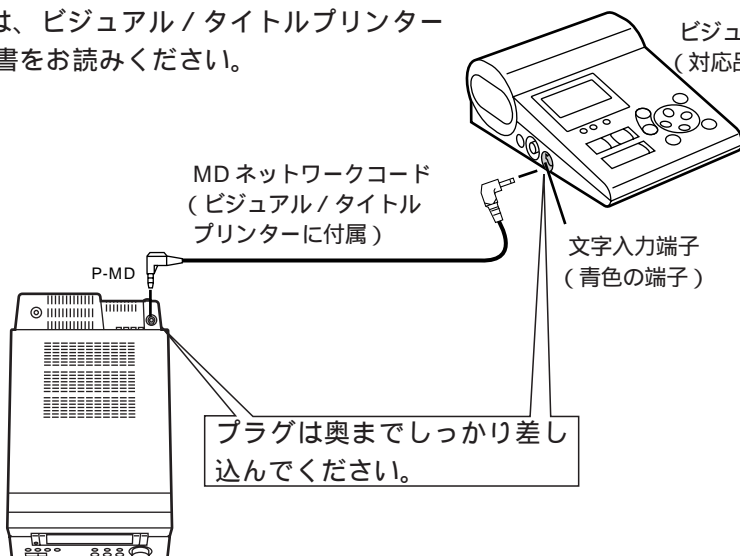
ポータブル MD プレーヤーは、本機の上に置いて使用しないでください。
ノイズが発生するなど、不具合の起こる恐れがあります。

ビジュアル/タイトルプリンターをつなぐ

MD に付いているタイトルを元にして、MD のラベルが印刷できます。

詳しくは、ビジュアル/タイトルプリンターの説明書をお読みください。

ビジュアル/タイトルプリンター
(対応品: SH-CP30)



ネットワーク機能でMDからMDに録音する

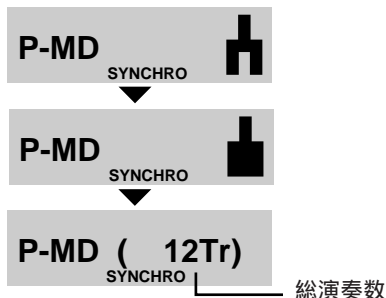
本機ではデジタル信号 アナログ信号 デジタル信号と順に変換して録音します。

録音元MDにタイトルが付いているときは、そのタイトルが、本機側のMDに、自動的にコピーされます。

準備：

- ① ポータブルMDプレーヤーに、録音元MDを入れる。
- ② 本機に、録音用MDを入れる。

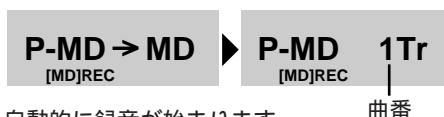
- ① **SELECTOR** 押して “ P-MD ” を選ぶ



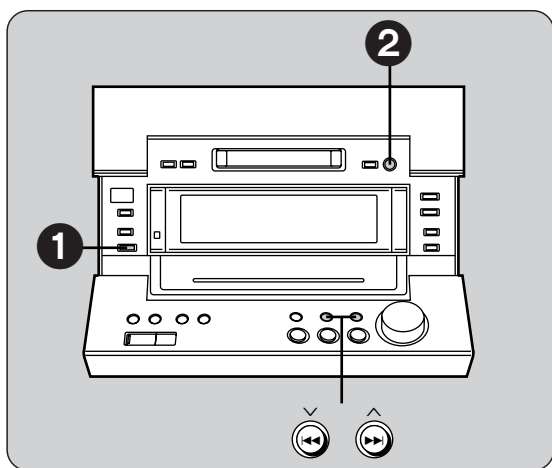
自動的にネットワークが確立し、表示パネルにポータブルMD側の総曲数が表示されます。

ポータブルMD側は、自動的に、適切な音量・フラットな音質に設定されます。

- ② **REC/||** 押す



自動的に録音が始まります。
 全曲の録音が終わると、自動停止します。



1 曲ずつ録音するには

- ① 右記手順 ① のあと、[◀◀] [▶▶] を押して曲番を選ぶ。
 確認の意味で、選んだ曲の演奏が自動的に始まります。
- ② [REC/||] を押す。
 自動的に曲のはじめに戻って、録音が始まります。
 1 曲の録音が終わると自動停止します。

録音用MDには、少し余裕のあるものを録音元MDにトラックマークが付いているときは、新たに録音したMDの同じ位置に、約1秒間の無音部が記録されます。このため、実際の録音時間は録音元MDの演奏時間より長くなります。録音の失敗を防ぐために、少し長めのMDをお使いください。

録音が終わったらポータブルMDプレーヤーの電池の消耗を防ぐため、コードを抜いてください。

“ P-MD ” が点滅したらボタン操作がない状態で約4分以上放置されているため、MDネットワークが休止状態になっています。ネットワーク機能を使うときは、もう一度 [SELECTOR] を押してください。

動作中 (TOC 読み込みなど) に “ P-MD ERROR ” と表示したらMDネットワークに異常があります。ポータブルMDプレーヤーの電池残量や、コードの接続を確認して、もう一度 [SELECTOR] を押してください。

お知らせ

MDネットワーク対応のパーソナルMDシステム/他のMDステレオシステムをつないでも、この機能は働きません。市販の演奏用MDから録音する場合、タイトルはコピーされません。ディスクタイトルがついているMDに録音した場合は、ディスクタイトルはコピーされません。トラックタイトルは、ディスクタイトルのついたMDに録音してもコピーされます。MDネットワーク機能は、タイマーと組み合わせて使うことはできません。

別売り機器を使う

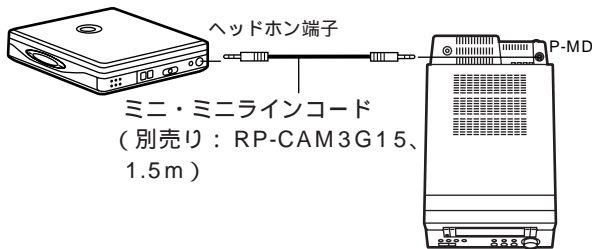
別売り品の品番は、2000年4月現在のものです。品番は変更されることがあります。

こんなことができます

接続できる機器	可能な操作	必要なコード	参照ページ
MD ネットワーク対応の ポータブルMD プレーヤー	MD MD 録音 (タイトル自動コピー)	MD ネットワークコード	40
ビジュアル/ タイトルプリンター	MD ラベル印刷	MD ネットワークコード	40
ポータブルMD プレーヤー	MD MD 録音	ミニ・ミニラインコード	下記
カセットデッキ/ラジカセ	再生、カセット MD 録音 MD カセット録音	ステレオピンコード	43
アナログプレーヤー/ テレビ/有線放送	各ソースの再生	ステレオピンコード	43
CS/BS チューナー	各ソース MD 録音 各ソースの再生 各ソース MD 録音	オプティカル・デジタルケーブル	44

ポータブルMD プレーヤーから本機のMD に録音

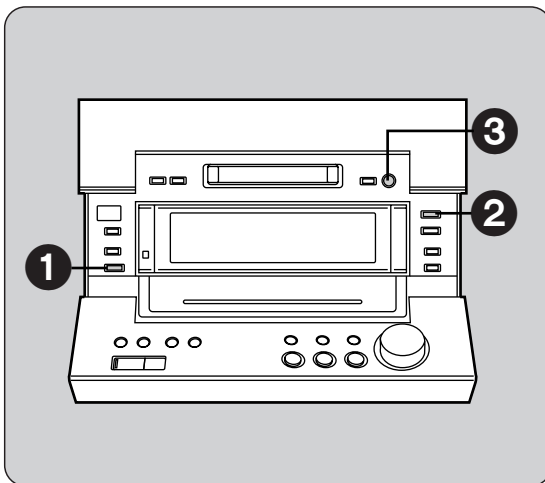
ポータブルMD プレーヤー



音がひずむ場合は、ポータブルMD プレーヤーの音量を調節してください。

MD ネットワーク対応のポータブルMD プレーヤーの場合は、40・41 ページの方法で接続すると簡単に録音できます。

準備：MDを入れる。



- 1 **SELECTOR** 押して、“P-MD” を選ぶ
- 2 **REC MODE/SP/LP** 押して、録音モード(下記参照) を選ぶ
- 3 **REC** 押す
マニュアル
 “MANUAL” 選択時は、録音が始まります。
- 4 **ポータブルMD プレーヤーの演奏を始める**
シンクロ
 “SYNCHRO” 選択時は、演奏と同時に録音開始。

録音モード

ポータブルMD プレーヤーの場合は、以下の録音モードのみ選べます。

マニュアル
MANUAL : 通常の録音モード

シンクロ
SYNCHRO : 接続した機器の演奏が始まると、自動的に録音も始まるモード。

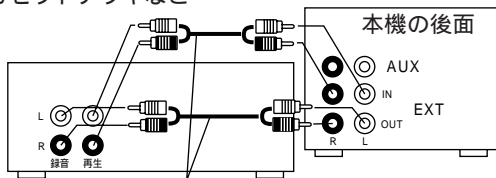
無音の状態が約3秒続くと録音が一時的に停止し、演奏が再開すると録音も再開します。

録音開始位置に、自動的にトラックマークが付きます。

他の機器を本機で再生/MD に録音

カセットデッキ・ラジカセ

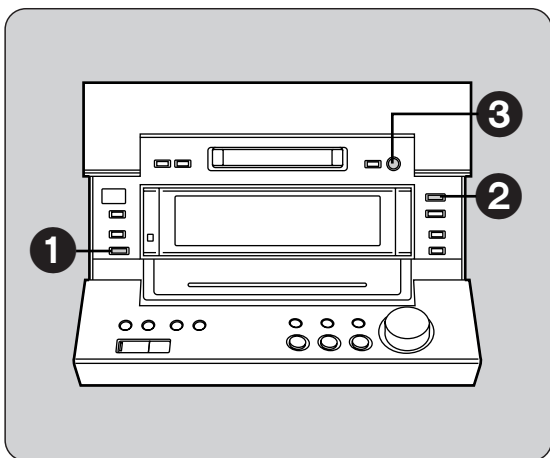
カセットデッキなど



ステレオピンコード
(別売り：RP-CAP3G10、1 m)

準備：

カセットテープとMDを入れる。



再生する場合は、手順②③は不要です。

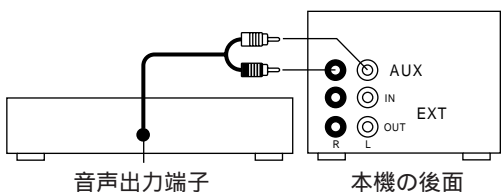
- ① **SELECTOR** 押して、“EXT-IN”を選ぶ
- ② **REC MODE/SP/LP** 押して、録音モードを選ぶ
- ③ **REC/II** 押す

“マニュアル” 選択時は、録音が始まります。

- ④ **カセットデッキ/ラジカセの再生を始める**
“SYNCHRO” 選択時は、演奏と同時に録音開始。

本機のMDからカセットテープに録音するには
① [SELECTOR] を押して“MD”を選ぶ。
② カセットデッキ/ラジカセで録音を始める。
③ 本機でMDの再生を始める。

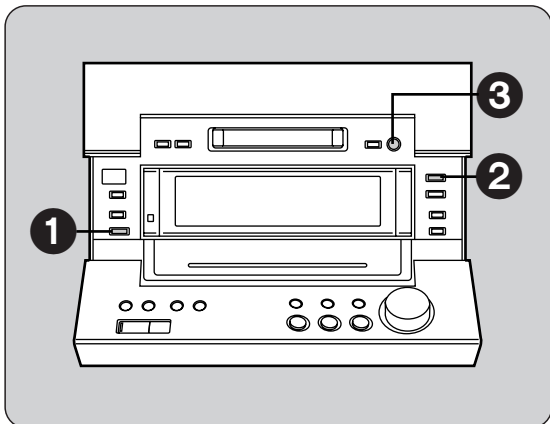
アナログプレーヤー・テレビ・有線放送



アナログプレーヤーなど

準備：

テレビと有線放送の場合は好みの放送局を受信する。



再生する場合は、手順②③は不要です。

- ① **SELECTOR** 押して、“AUX A-IN”を選ぶ
- ② **REC MODE/SP/LP** 押して、録音モードを選ぶ
- ③ **REC/II** 押す

ターンバック・ターンタイム
TURN BACK・TURN/TIME 選択時は
“TURN BACK” の表示が点滅 点灯に変わったあと、もう一度 [REC/II] を押す。

- ④ **ソース(アナログプレーヤー)の演奏を始める**
“SYNCHRO” 選択時は、再生と同時に録音開始。

別売り機器を使う

使いかた

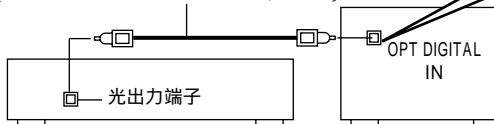
ポータブルMDプレーヤーから本機のMDに録音
他の機器を本機で再生/MDに録音

別売り機器を使う(つづき)

他の機器を本機で再生 / MD に録音

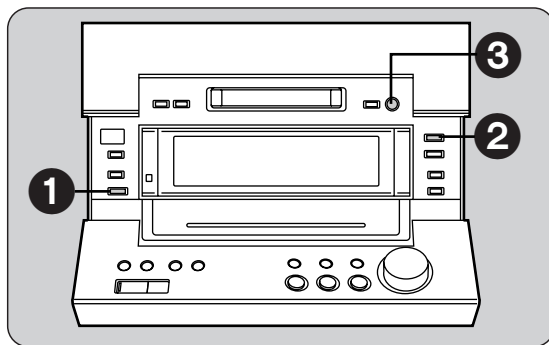
CS/BS チューナー

オプティカルデジタルケーブル
(別売り: RP-CA2010A, 1m)

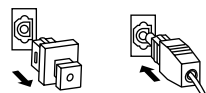


CS/BS チューナーなど

準備: 好みの放送局を受信する。



- ① 防塵キャップをはずす
- ② 形状を合わせて差し込む



光入力端子を使わないときはほこりが入ると誤動作の原因になるため、防塵キャップを付けておいてください。

再生する場合は、手順②③は不要です。

- ① SELECTOR 押して、“AUX D-IN” を選ぶ
- ② REC MODE/SPILP 押して、録音モードを選ぶ
- ③ REC II 押す

録音が始まります。

ターンバック・ターンタイム選択時は、“TURN BACK” または “TURN/TIME” の表示が点滅点灯に変わったあと、もう一度 [REC/II]

“AUX D-IN” 表示中は

本機のMDを取り出すと、演奏音が少し途切れます。MDへの録音開始時に、約1秒間、演奏音が途切れます。(録音には影響しません) MDへの録音終了時にUTOCを記録するため、約5秒間演奏音が途切れます。

お知らせ

本機にはサンプリングレートコンバーター機能が付いているため、CS/BSチューナーの音声(32 kHz / 48 kHz)も録音できます。

デジタル接続で録音/再生すると、音量が小さくなる場合があります。そのときは、アナログ接続で録音/再生するようにしてください。

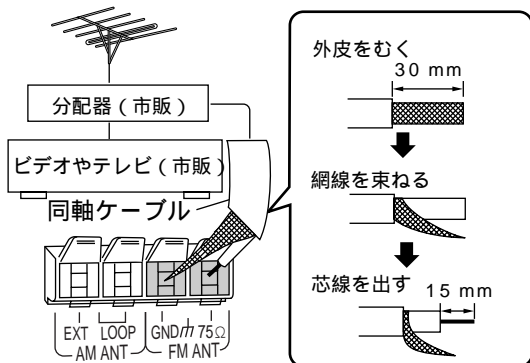
曲によっては、シンクロ録音モードを使うと、曲の最初の部分が録音されなかったり、レベルの低い曲では途中で止まったりすることがあります。この場合は、通常の方法で録音してください。

屋外アンテナの接続

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは必要です。

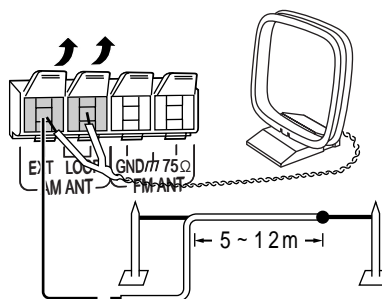
FM (テレビアンテナの利用)

付属のFM簡易型アンテナは取りはずします。

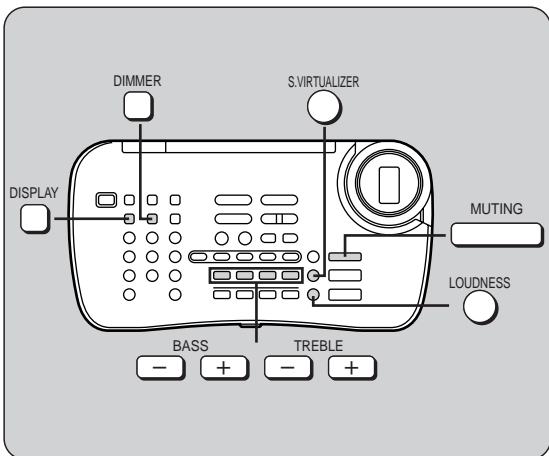


AM (市販のビニール線)

付属のAMループアンテナは取りはずさないで、いっしょにつないでおきます。窓際などに、水平に設置します。



便利な機能



低音・高音を調節する

操作の前に、ラウドネス効果（下記参照）が“OFF”になっていることを確認してください。



低音・高音とも、-6 ~ +6 の範囲で調整できます。

音に臨場感を与える

（サウンドバーチャライザー）

中音部（ボーカルなど）を安定させたまま、音に自然な広がりとお行きを与えます。



S.V. ON

(本体表示部)

解除するには、もう一度押す。

“S.V. OFF”が表示されます。

ステレオ音声に効果があります。

ヘッドホンで聞くときは、スピーカーで聞くより効果が少なく聞こえます。

お知らせ

FM ステレオ放送を聴いていて雑音が多いときは、解除してください。

小音量で迫力ある音を楽しむ

（ラウドネス）

低音・高音を強調し、小音量でも音に迫力を持たせます。



LOUDNESS ON

(本体表示部)

解除するには、もう一度押す。

“LOUDNESS OFF”が表示されます。

ラウドネス効果を使っているときは、低音・高音の調整は効きません。

表示パネルの明るさを変える

（ディマー）

表示パネルが少し暗くなり、ボタンランプが光えぬ。

就寝時など、暗い部屋でパネルの明るさが気になるときに使います。



解除するには、もう一度押す。

一時的に消音する

（ミュートイング）

電話がかかってきたときなどに便利です。



(本体表示部)

解除するには、もう一度押して“MUTING”を消す。

または [VOLUME] を左に回して、“- dB”を表示させる。(電源を切っても解除されます)

MD 使用時に表示を切り換える

MD 使用時（再生・停止・録音）に、タイトル、録音できる時間などを表示します。

表示する情報は、操作によって異なります。



好みの表示になるまで

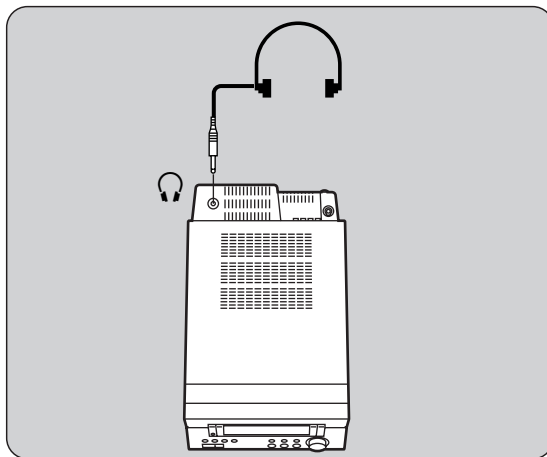
(本体表示部)

数回押す

MD Rem 30:46

(例：MD の残り時間)

ヘッドホン（別売り）で聞く



接続するときには、音量を下げてください。

耳を刺激するような大きな音で長時間聞くことは、避けてください。

プラグタイプ：ステレオミニ (M3)

推奨品：RP-HT400、RP-HT242

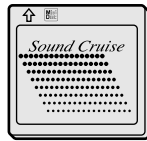
(ともに別売り)

MD について

MDの種類

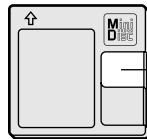
演奏専用MD（録音できません）

ビットという小さくぼみの有無でデータが記録されています。この方式のMDを「光ディスク」といいます。



録音用MD

磁気によってデータが記録します。この方式のMDを「光磁気ディスク」といいます。



MDの録音・編集について

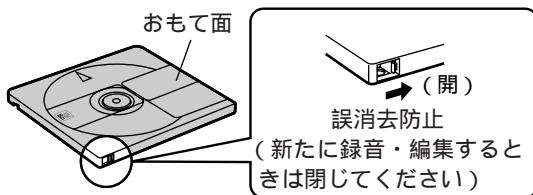
テープとは違います

録音済みのMDは、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。ディスクがいっぱいになったときは、イレース（消去機能）で、いらぬ曲を消してから録音します。（上書き録音はできません）

MD1枚への録音曲数は、収録時間内で最大254曲までです。

ただし、MDは2秒以下の音声を録音する場合にも約2秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

大切な録音を消さないために
誤消去防止つまみを、穴が開く方向にずらしません。



MDの録音方式

本機のCDや別売りのデジタル機器（BSチューナーなど）をデジタル接続（☞44ページ）したときの録音デジタル信号をそのままデジタルで録音します。ただし、この録音にはSCMSという制限があります。（右記参照）

本機のラジオや別売りのアナログ機器（アナログプレーヤーなど）の録音

アナログ信号をデジタル信号に変換して録音します。別売りのデジタル機器をアナログ接続（☞43ページ）したときの録音

デジタル信号 アナログ信号 デジタル信号と順に変換して録音します。

デジタル録音の制限について（SCMS）
デジタル録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。本機でCDからMDへ、または光ファイバーケーブルを使って別のデジタル機器から本機のMDへ録音すると、信号劣化の少ないクリアなデジタル録音が行えます。そこで、著作権保護のため、このMDからさらに別のMDへはデジタル録音できないようになっています。なおアナログ録音にはこのようなしくみはありません。

録音・編集・タイトル入力時のお願い
録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。“UTOC”の点灯中または“UTOC Writing”の点滅中に電源が切れたり、振動があると、録音・編集・タイトル入力がMDに正しく記録されません。

よく出てくるMD用語

トラックマーク

録音部分に記録される「区切り」のことです。ある区切りから次の区切りまでが1曲と数えられます。トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、5分ごとに付けたりすることもできます。

トック
TOC（Table of Contents）

MDには、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や演奏時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容をTOC情報といいます。

ユートック
UTOC（User Table of Contents）

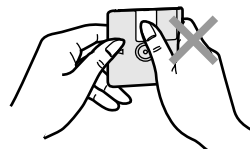
自分で自由に書き換えられるTOCです。入力した文字や、編集した結果などを記録します。MDにUTOCが書き込まれているときは、“UTOC Writing”と表示され、注意を促します。

マーキング
MARKING

録音中にトラックマークを記録することです。本機が曲の変わり目を判断してマーキングします。

取扱上のおお願い

指定外の位置にラベルを貼らない
（また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがしたあとのあるMDは、故障の原因になりますので、使用しないでください）
シャッターを開かない
（万一開いてしまったときは、すぐ閉じてください。中の円盤には直接手を触れないでください。）

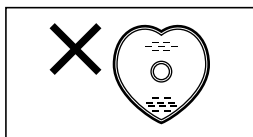


CD について

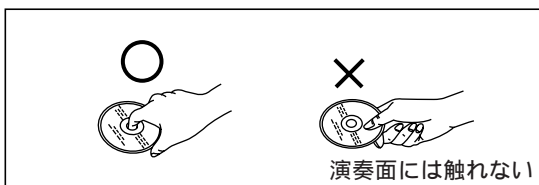


このマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など、特殊形状のCDは使わないでください。(機器の故障の原因になります)

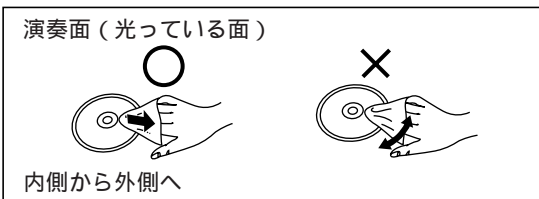


持ちかた



汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。



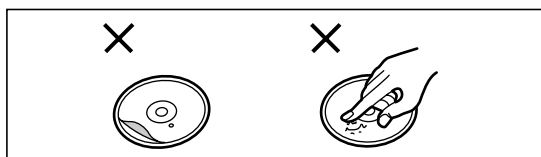
露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のお願い

CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 傷つき防止用のプロテクターなど当社指定外の市販品は使わない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているCDは使わない



保管 (MD・CD)

次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

お手入れ

本体が汚れたら
柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤(中性)を含ませた布で拭き、後は空ぶきしてください。
アルコールやシンナーは使わないでください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

MD・CDをよい音でお楽しみいただくために別売りの専用クリーナーなどで、定期的に清掃されることをおすすめします。

- MD レンズクリーナー (別売り: RP-CL310)
- MD 録音ヘッドクリーナー (別売り: RP-CL320)
- CD レンズクリーナー (別売り: RP-CL510)

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先:(社)私的録音補償金管理協会
☎03-5353-0336

放送やレコード、その他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従って、それらから録音したMDやテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	(03)3502-6551	中部支部	(052)583-7590
北海道支部	(011)221-5088	北陸支部	(076)21-3602
盛岡支部	(019)652-3201	京都支部	(075)251-0134
仙台支部	(022)264-2266	大阪支部	(06)6244-0351
大宮支部	(048)643-5461	大阪北支部	(06)6244-7077
東京支部	(03)3562-4455	神戸支部	(078)322-0561
西東京支部	(03)3232-8301	中国支部	(082)249-6362
藤沢・横浜・川崎支部	(03)5286-1671	四国支部	(0878)21-9191
立川支部	(0425)29-1500	九州支部	(092)441-2285
横浜支部	(045)662-6551	鹿児島支部	(099)24-6211
静岡支部	(054)254-2621	那覇支部	(098)863-1228

必要なとき

Q & A (よくあるご質問)

	Q (質問)	A (回答)	参照 ページ
他の 機器との 接続	手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい	現在、アンプの「フォノ」または「プレーヤー」端子に接続している場合は、市販のフォノイコライザーアンプが必要です。そのまま接続すると、音が小さくなります。	43
	テレビをつなぎたい	後面の「AUX」端子に接続します。音声のみ本機でお楽しみいただけます。	43
	有線放送をつなぎたい	後面の「AUX」端子に接続します。	43
	他のスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。	
MD への 録音	MD ネットワーク対応している機器は？	 カタログにこのマークの付いている製品が対応しています。	40
	MD で長時間録音 (モノラル) する方法は？	MD 以外のモードで “LP MODE” と表示するまで、[REC MODE / - SP / LP] を押し続けます。あとは、通常の録音操作をしてください。	19
	録音用 MD の残り時間を知りたい	[DISPLAY] を押して、残り時間表示にしてください。停止中は、[SELECTOR] を押して MD モードにしてから、[DISPLAY] を押ししてください。	19
	録音済み MD に上書き録音したい	MD は、テープと異なり、上書き録音はできません。MD の残り時間が少ないときは、いらぬ曲をイレースで消してから録音してください。	
	録音済み MD の続きに録音したい	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。頭出しは不要です。	
	録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	録音レベルは一定です。録音中に音量や音質を調節して、スピーカーからの音を変えても、録音される音には影響しません。	19
その他	引っ越しするのだが、そのまま使える？	東日本・西日本に関係なく使えます。電源の周波数は本機内部で自動的に切り換わります。	

こんな表示が出たら

表示	意味	処置
ADJUST CLOCK	電源コードを接続した直後か、あるいは停電のあった可能性があります。	時計を合わせてください。
ADJUST TIMER	タイマーの時刻が設定されていません。	時刻を設定してください
CAN ' T COMBINE	コンバインできません。	MDのシステム上の制約です。
CAN ' T DIVIDE	ディバイドできません。	MDのシステム上の制約です。
CAN ' T EDIT	他の機器で101文字以上のタイトルをつけたMDを、本機でタイトル編集しようとした。	タイトル編集できません。 編集した機器で文字数の少ないタイトルにつけ直してください。
CAN ' T MEMORIZE	転写元のMDのタイトルを記憶できていません。	再度操作してください。
CHANGE TIME	タイマーのONとOFFが同時刻になっています。	時刻を変えてください。
DISC ERROR	MDに異常があるか、損傷しています。	MDを取りかえてください。
DISC FULL	MDの空き時間が足りません。	不要な曲を消去するか、新しい録音用MDに取りかえてください。
DISC/PROTECTED	MDが誤消去防止状態になっています。	録音・編集するには、MDの誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
EJECT ERROR LOAD ERROR	MDを出し入れしたとき異常が発生しました。自動的に電源が切れます。	MDをいったん抜いて、電源を入れ、操作し直してください。
EMERGENCY/STOP	録音中に異常が発生しました。	MDを入れ直し、もう一度操作し直してください。
ERROR	操作が違います。	取扱説明書にしたがって操作し直してください。
MD F26	MDの読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切/入した後、MDを入れなおしてください。それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
PlaybackDISC	演奏専用MDに録音・編集しようとした。	録音用MDに取りかえてください。
PRESS/カイジョ	リモコンは文字入力モード、本体は通常モードになっています。	リモコンの[解除]を押してください。
PRESS/モジニューリョク	本体は文字入力モード、リモコンは通常モードになっています。	リモコンの[文字入力]を押してください。
SCMS/CAN ' T COPY	デジタル録音したMDから、さらに別のMDにデジタル録音しようとした。	アナログ接続で録音してください。
	ビデオCDやCD-ROMなど、MDに録音できない音源を録音しようとした。	オーディオ用のCDに取りかえてください。
TAKE OUT MD	MDが半分出た状態でMDパネルを閉じました。	MDを取り出してください。
TITLE FULL	この曲にはこれ以上タイトル入力できません。	タイトルを短くしてください。
TITLE OVER	このMDにはこれ以上タイトル入力できません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。
TOC Reading	CDまたはMDのTOC情報を読み込んでいます。	TOC Reading 消灯後に操作してください。
TRACK NUMBER/ NOT EQUAL	曲数の違うMDへはタイトルをコピーできません。	曲数のおなじMDに取りかえてください。
TRACK/PROTECTED	曲にプロテクト(保護)がかかっています。	編集・消去していいか、確認してから操作してください。
UNLOCK	デジタル録音できません。	光ファイバーケーブルの接続を確認してください。
UTOC FULL	タイトルを書き込めるだけの空きがありません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。
	254曲入っているMDで曲をディバイドしようとした。	MDのシステム上の制約です。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

	こんなときは	ここをご確認ください	処置	参照ページ
システム全体に共通	電源が入っているのに音が出ない。	スピーカーコードを正しく接続していますか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8.9
	音の位置が定まらない。	スピーカーコードの⊕、⊖を逆に接続していませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8.9
	左右の音が逆になる。	スピーカーコードを左右逆に接続していませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8.9
		別売り機器のコードを左右逆に接続していませんか。	別売り機器のコードを正しく接続する。	4.3
	再生中に「ブーン」という音が出る。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離す。 電源コードを逆に差しかえてみる。	
	片側のスピーカーから音が出ない。	スピーカーコードがはずれていませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8.9
	再生中に音が出なくなった。	スピーカーコードの⊕、⊖がショートしていませんか。	電源を切り、正しく接続し直し、電源を入れる。	8.9
MD	MDを入れても、自動的に引き込まれない。 MDを入れるのに、かなりの力がある。	排出動作中のMDに、無理な力を加えませんでしたか。	電源を入れなおす。	
	再生できない。	寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約1時間待ってから使用する。	
	録音・編集ができない。	誤消去防止状態になっていませんか。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。	4.6
	タイトルが入力できない。			
	MDのタイトルや曲名が出なかったり、表示が途切れたりする。	MDに記録できる文字数(英数記号で最大約1700文字。カナは約その半分)を超えていませんか。	文字数の少ないタイトルにつけ直す。	3.2
	MDを入れても“TOC Reading”が点滅したままで、操作ができなくなる。また、この状態で[▲、MD]を押しても、MDが出てこない。	MDのTOC情報読み込み中に異常が発生しました。	① [POWER、⏻/]を押す。しばらくするとカチッと音がして、完全に電源が切れます。 ② 電源を入れ、すぐ[▲、MD]を押す。MDが出てきます。(出てこないときは、手順①②をくりかえす) ③ MDを取り替える。異常が再発するときは、販売店にご相談ください。	
倍速録音ができない。	録音を開始した時点から74分間待たずに同じ曲を録音しようとしませんでしたか。	74分間待ってから録音する	2.6	
CD	CDを入れても、表示パネルの表示が変わらない。	規格外のCDを使用していませんか。	規格のCDと取り替える。	4.7
	再生ボタンを押しても再生が始まらない。	寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約1時間待ってから使用する。	
	特定の箇所が正常に再生しない。	CDが汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	4.7
	一曲しか録音できない。	1-RECモードになっています。	[CD EDIT]を押して、1-RECモードを解除してください。	2.5

こんなときは		ここをご確認ください	処置	参照ページ
FM	ステレオ放送に雑音が入る。	送信所が遠くありませんか。	簡易型アンテナの場合は、テレビアンテナを利用してみる。	44
	ステレオ放送で雑音が多く時々音が出なくなる。	アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。		
	“STEREO” が点滅する。	送信所が遠くありませんか。	テレビ、ビデオデッキ、BSチューナーなどの電源が入っていませんか。	/
		テレビ、ビデオデッキ、BSチューナーなどの電源が入っていませんか。		
	ステレオ放送の音にひずみが多い。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	テレビアンテナを利用してみる。	44
AM	雑音が多い。	テレビやパソコンと同時に使用したり、携帯電話機の充電を近くでしていませんか。	本機と各機器との距離を離すか、各機器の電源を切る。	/
		アンテナ線が電源コードに接近していませんか。	アンテナ線と電源コードを離す。	/
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れる。	7
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	7
テレビ	画面が時々消えたり、画面にシマ模様が出る。	アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	簡易アンテナの場合は、専用アンテナに替える。テレビと本機の距離を離す。	/
		テレビのアンテナ線が本機に接近していませんか。	テレビのアンテナ線の本機から離す。	/

必要とき

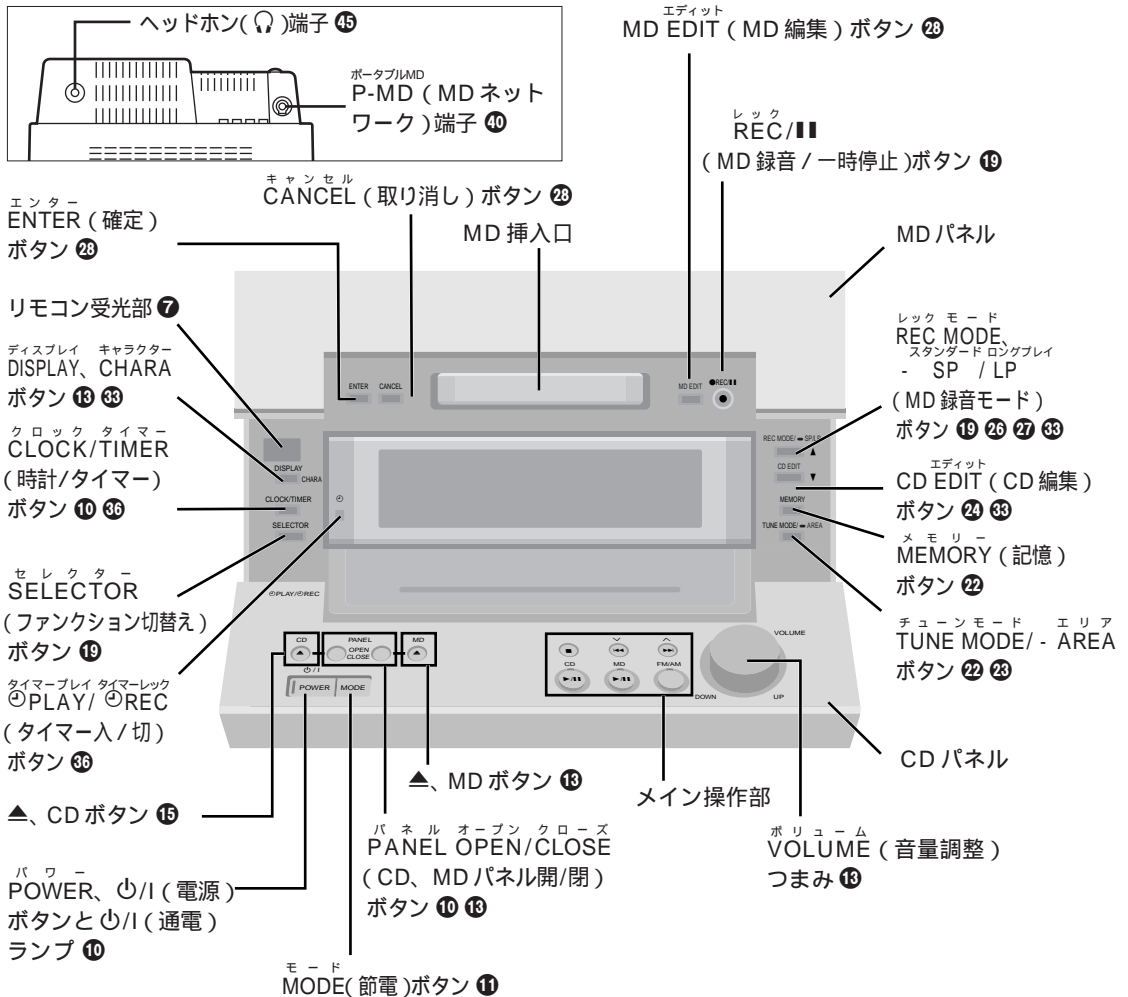
MDの制約について

症状	原因
曲数や録音時間が最大ではないのに“UTOC FULL”が表示される。	録音時間に関係なく、曲数が最大になると、録音できなくなります。(MD1枚の最大曲数254曲)
	録音のしかたによっては、254曲以下であっても録音できないことがあります。
コンパイン/ディバインド機能が使えないことがある。	部分録音/部分消去をくり返したMDに録音すると、MD上のデータとしては分断されて記録されるため、左記のようなことが起こる場合があります。
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り/早戻しすると、音の途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MDの最大録音時間にならない。	MDは、2秒以下の音声を録音する場合でも、約2秒間の領域を使用するため、残り時間より実際に録音できる時間が少なくなります。

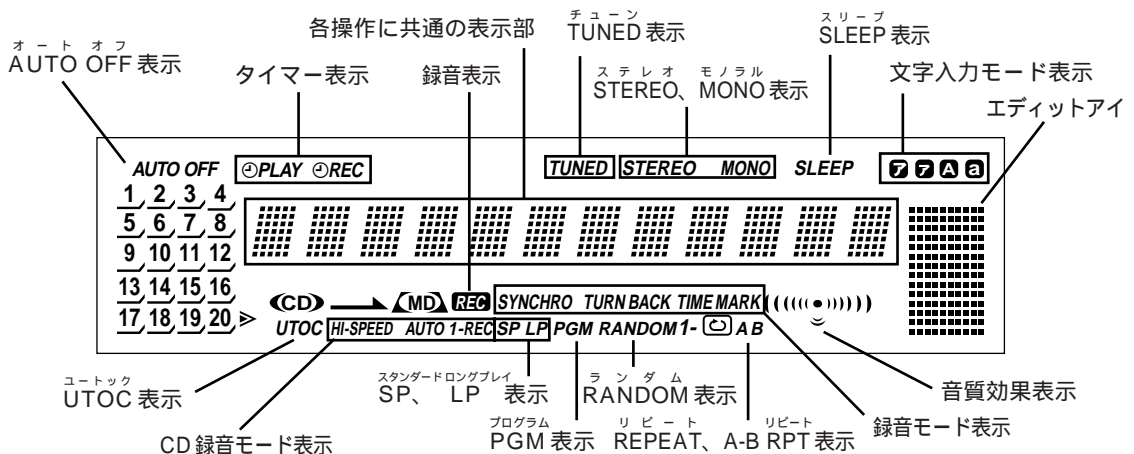
各部のなまえ

本体

⑩などの数字は、参照ページです。



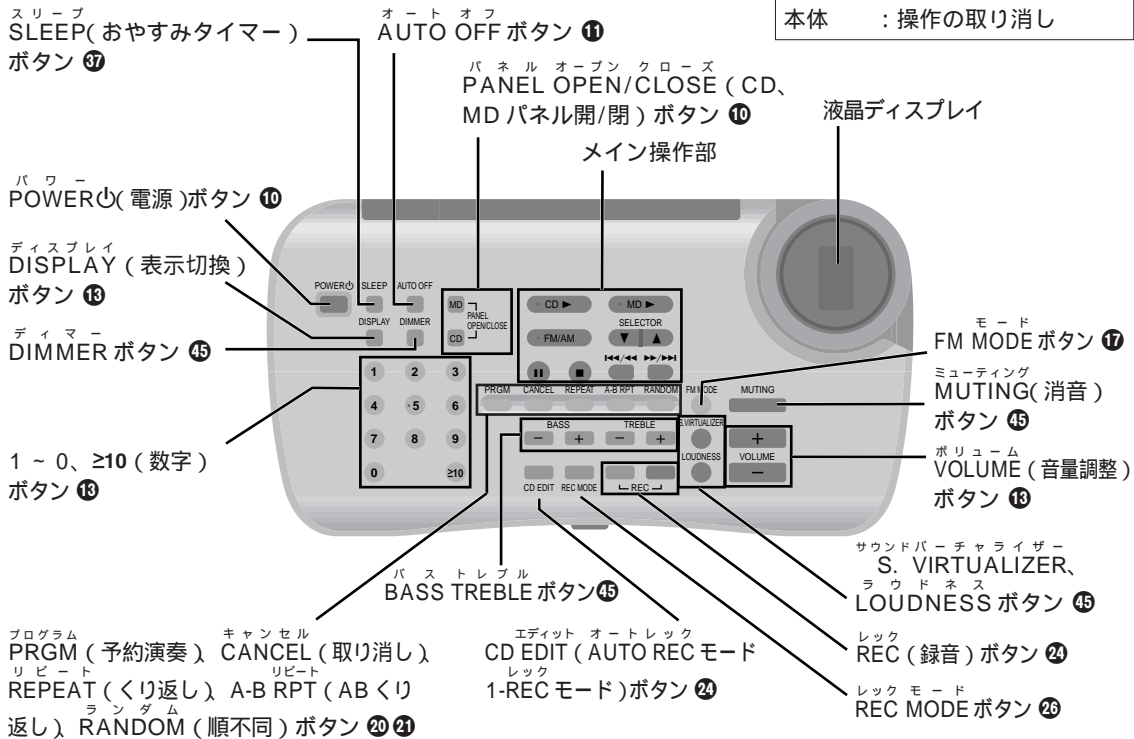
表示部



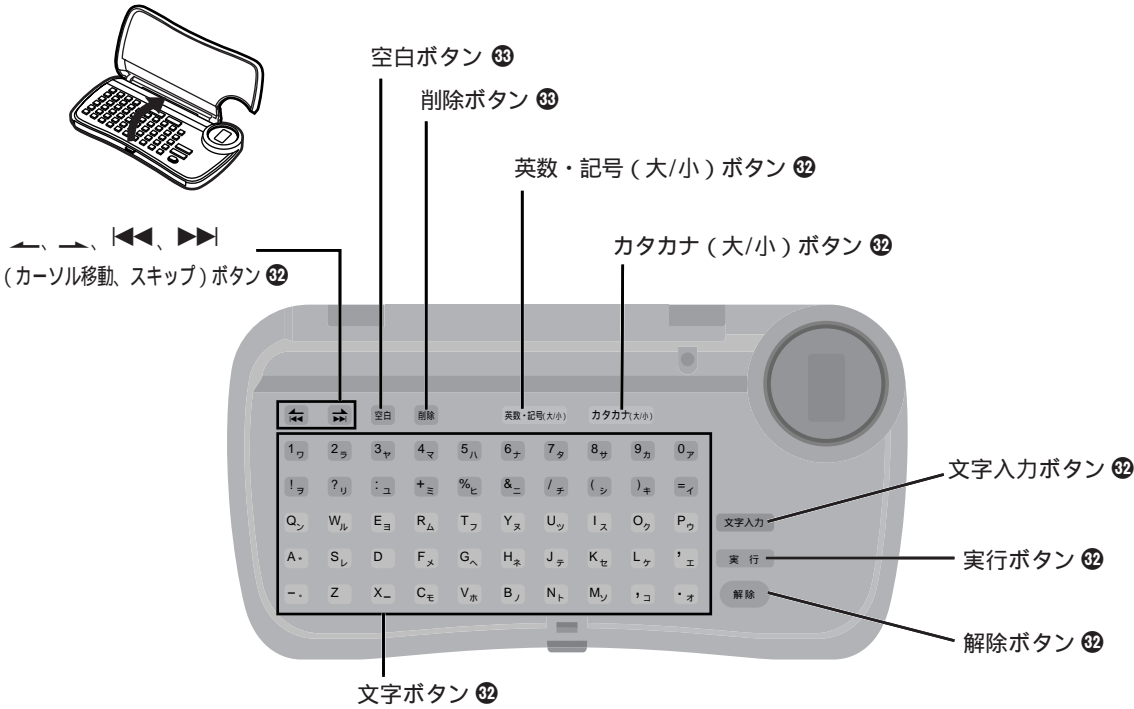
リモコン (上パネル)

リモコンのボタン名称が本体と同じ場合は、ボタンの働きも同様になります。ただし、CANCELのみ異なる。

リモコン：プログラムの取り消し
本体：操作の取り消し



リモコン (下パネル)



必要なとき

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

修理は、サービス会社・販売会社の「修理
ご相談窓口」へ!

その他のお問い合わせは、「お客様ご相談セ
ンター」へ!

保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確
かめ、お買い上げの販売店からお受け取りく
ださい。よくお読みのと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

修理を依頼されるとき

50 ~ 51 ページの表に従ってご確認のあと、
直らないときは、まず電源プラグを抜いて、
お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせてい
ただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希
望により有料で修理させていただきます。

ただし、MD ステレオシステムの補修用性能部
品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
(この期間は通商産業省の指導によるものです)

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を
維持するために必要な部品です。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで
構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部
品交換・調整・修理完了時の点検な
どの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助
材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣
する場合の費用です。

ナショナル/パナソニック

お客様ご相談センター

使いかた・
お買い物の
ご相談は

フリーダイヤル
(料金無料)



パナは 365日
0120-878-365

365日 / 受付9時 ~ 20時

Help desk for foreign residents in Japan

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

Tokyo (03) 3256 - 5444

Osaka (06) 6645 - 8787





ナショナル/パナソニック

修理ご相談窓口

修理の
ご相談は

ナビダイヤル (全国共通番号) ☎ 0570-087-087

お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口へ直接おかけください。
(ナビダイヤルはご利用頂けません)

北海道地区	
札幌 札幌市厚別区厚別南 2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	帯広 帯広市西19条南1丁目 7-11 ☎ (0155)33-8477
旭川 旭川市2条通21丁目 左1号 ☎ (0166)31-6151	函館 函館市西桔梗589番地241 (函館流通センター内) ☎ (0138)48-6631

近畿地区	
滋賀 守山市勝部6丁目2-1 ☎ (077)582-5021	奈良 大和郡山市椎木町404-2 ☎ (0743)59-2770
京都 京都市南区上鳥羽石橋町 20-1 ☎ (075)672-9636	和歌山 和歌山市中島499-1 ☎ (0734)75-1311
大阪 大阪市北区本庄西1丁目 1-7 ☎ (06)6359-6225	兵庫 神戸市中央区琴ノ緒町 3丁目2-6 ☎ (078)272-6645

東北地区	
青森 青森市大字八ッ段字矢作 1-37 ☎ (017)739-9712	宮城 仙台市宮城野区扇町 7-4-18 ☎ (022)387-1117
秋田 秋田市御所野湯本2丁目 1-2 ☎ (018)826-1600	山形 山形市流通センター 3丁目12-2 ☎ (023)641-8100
岩手 盛岡市羽場13地割30-3 ☎ (019)639-5120	福島 福島県安達郡本宮町 字南ノ内65 ☎ (0243)34-1301

中国地区	
鳥取 鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	岡山 岡山県都窪郡早島町 矢尾807 ☎ (086)292-1162
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129	広島 広島市西区南観音8丁目 13-20 ☎ (082)295-5011
松江 松江市西津田2丁目10-19 ☎ (0852)23-1128	山口 山口市鑄銭司 字鑄銭司団地北447-23 ☎ (0839)86-4050
出雲 出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	
浜田 浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629	

首都圏地区	
栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎ (028)689-2555	千葉 千葉市中央区星久喜町172 ☎ (043)208-6034
群馬 高崎市秋原町沖中205-18 ☎ (027)352-1109	東京 東京都世田谷区宮坂 2丁目26-17 ☎ (03)5450-7431
水戸 水戸市柳河町309-2 ☎ (029)225-0249	山梨 甲府市下飯田2丁目1-27 ☎ (0552)22-5171
つくば つくば市花畑2丁目8-1 ☎ (0298)64-8756	神奈川 横浜市港南区日野5丁目 3-16 ☎ (045)840-3155
埼玉 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎ (048)729-2102	新潟 新潟市東明1丁目8-14 ☎ (025)286-7725

四国地区	
香川 高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-9477	高知 南国市岡豊町中島331-1 ☎ (088)866-3142
徳島 徳島県板野郡北島町 鯛浜字かや108 ☎ (088)698-1125	愛媛 松山市土居田町750-2 ☎ (089)971-2144

中部地区	
石川 石川県石川郡野々市町 稲荷3丁目80 ☎ (076)294-2683	名古屋 名古屋市長瀬区塩入町 8-10 ☎ (052)819-0225
富山 富山市寺島1298 ☎ (076)432-8705	岡崎 岡崎市岡町南久保28 ☎ (0564)55-5719
福井 福井市開発4丁目112 ☎ (0776)54-5606	岐阜 岐阜県本巣郡北方町 高屋太子2丁目30 ☎ (058)323-6010
長野 松本市大字笹賀7600-7 ☎ (0263)58-0073	高山 高山市花岡町3丁目82 ☎ (0577)33-0613
静岡 静岡市西島765 ☎ (054)287-9000	三重 久居市森町字北谷1920-3 ☎ (059)255-1380

九州地区	
福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎ (092)593-9036	熊本 熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067
佐賀 佐賀市本庄町大字本庄 896-2 ☎ (0952)26-9151	天草 本渡市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
長崎 長崎市東町1949-1 ☎ (095)830-1658	鹿児島 鹿児島市与次郎1丁目 5-33 ☎ (099)250-5657
大分 大分市萩原4丁目8-35 ☎ (097)556-3815	大島 名瀬市矢之脇町10-5 ☎ (0997)53-5101
宮崎 宮崎県宮崎郡清武町 下加納366-2 ☎ (0985)85-6530	

沖縄地区	
沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎ (098)877-1207	

必要なとき

よくお読みください

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0500

主な仕様

アンプ部

実用最大出力 (両 ch 動作) : 20 W + 20 W (全高調波ひずみ率 10%、6)
 LOW : 16 W + 16 W (6)
 HIGH : 4W + 4 W (6)

FM チューナー部

受信周波数帯域 : 76.0 ~ 90.0 MHz (100 kHz ステップ) TV1 ~ 3ch 音声
 アンテナ端子 : 75 (不平衡型)

AM チューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1629 kHz (9 kHz ステップ)
 実用感度 (S/N 20dB) : 500 μ V/m

MD デッキ部

形式 : ミニディスクデジタルオーディオシステム
 記録方式 : 磁界変調オーバーライト方式
 読取方式 : 半導体レーザー (= 780 nm) による非接触光学式
 サンプリング周波数 : 44.1 kHz
 圧縮 / 伸長方式 : ATRAC 方式
 チャンネル数 : 2 チャンネル、ステレオ
 ワウ・フラッター : 測定限界以下

CD 部

サンプリング周波数 : 44.1 kHz
 量子化 : 16 ビット 直線
 光源 : 半導体レーザー
 波長 : 780 nm
 チャンネル数 : 2 チャンネル (ステレオ)
 ワウ・フラッター : 測定限界以下
 デジタルフィルター : 8 fs
 DA コンバーター : MASH (1 ビット DAC)

本体総合

電源 : AC100 V 50/60 Hz
 消費電力 : 48 W
 寸法 (幅 × 高さ × 奥行) : パネル開時 210 × 140 × 365 mm
 : パネル閉時 210 × 159 × 399 mm
 質量 : 約 4.7 kg

スピーカー部 (SB-PM65)

型式 : 3 ウェイスピーカーシステム
 使用スピーカー :
 スーパーウーハー : 12 cm コーンタイプ
 ウーハー : 10 cm コーンタイプ
 ツィーター : 6 cm リング・シェイプド・ドームタイプ
 インピーダンス :
 LOW : 6
 HIGH : 6
 許容入力 :
 LOW : 35 W (Music)
 HIGH : 10 W (Music)
 出力音圧レベル : 86 dB/W (1.0 m)
 クロスオーバー周波数 : 110 Hz、3 kHz
 再生周波数帯域 :
 : 45 Hz ~ 40 kHz (- 16 dB)
 : 60 Hz ~ 36 kHz (- 10 dB)
 寸法 (幅 × 高さ × 奥行) : 147 × 283 × 286 mm
 質量 : 約 3.8 kg

電源オフ時の消費電力 ECO モード...約 0.35 W
 NORMAL モード...約 8.5 W

注) 1 この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
 2 全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

愛情点検

長年ご使用の MD ステレオシステムの点検を！



こんな症状はありませんか

- ・煙が出たり、異常なおい
- や音がある
- ・音が出ないことがある
- ・正常に動作しないことがある
- ・商品に破損した部分がある
- ・その他の異常や故障がある



このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

販売店名	☎ () -	お買い上げ日	年 月 日
お客様 ご相談窓口	☎ () -	品番	SC-PM65MD

松下電器産業株式会社 デジタル AV ネットワーク事業部

〒571-8505 大阪府門真市松生町1番4号

RQT5545-S

F0500HT0

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) 2000